

大正六年十二月十九日第三種郵便物認可 (每月一回十五日發行)

阿武郡報

第二十三號

士規七則

- 一 凡生爲人 宜知四人所三以異三於禽獸 蓋人有二五倫一 而君臣父子爲三最大一 故人之所三以爲三レ人 忠孝爲レ本
- 一 凡生三皇國一 宜知四吾所三以尊三於宇內 蓋皇朝萬世一統 邦國士夫 世三襲祿位一 人君養レ民 以續三祖業一 臣民忠レ君 以繼三父志一 君臣一體 忠孝一致 唯吾國爲レ然
- 一 士道莫レ大ニ於義一 義因レ勇行 勇因レ義長
- 一 士行以三實實不レ欺爲レ要 以三巧詐文過ニ爲レ恥 光明正大 皆由レ是出
- 一 人不レ通三古今一 不レ師三聖賢一 則鄙夫耳 讀書尙友君子之事也
- 一 成德達材 師恩友益居多焉 故君子慎三交遊一
- 一 死而後已四字 言簡而義廣 堅忍果決 確乎不レ可レ援者 舍レ是無レ術也



◎青年の自覺

愛知縣立農林學校長山崎延吉氏ハ本年一月十二日豊浦郡立豊浦高等女學校講堂ニ於テ同郡各町村青年團ニ對シ左ノ講演アリタリ茲ニ載録シテ青年指導ノ資ニ供ス

青年の自覺と言ふことでお話を致します此の青年の自覺と言ふことは諸君の様な青年時代にあるものが自ら青年であると言ふことを承知すると同時に青年なるものはどんなことをすべきであるかを自分で覺らねばならぬことをいふのであります。

文字から申せば青年なる文字は青い年と書いてあります、即ち青い時代の人といふことを意味するものであります、青いと言ふ文字に色々の意味を含んでゐる、冴々

た晩の空を見ると一點の雲もなく月と星とがきら／＼光つて手にとる様に見ゆる、晝間なれば青い空には輝いてゐるお日さんより外に何もなく天を仰で見ると如何にも世の中が大きな様な感じがいたします。故に空が青い時は世が大きなうあつて廣く限りのないものであります、青年が晴天の様にやらねばならぬことは青いといふ字に表はれて居ります。故に青年諸君は青空の如く心持が大きいなけらねばなりません。地上にあつては青い字は物の未熟を示して居る青草の様で、物が黄ろくなつて熟するのであります、故に吾人は地に於て青いのは未熟を意味して居ること、考へ青年は未だ未熟であることを覺らねばなりません即ち青年時代は一人前にならぬ時といふことを文字の上から考へて覺らねばなりません、又各自の身體から考へる時は即ち生理的に考へて見る時は最も發育盛り身體の出來盛りであります、諸君の體は青年時代に於て肉がつき目方も増し血が出來成長が最も盛な時代であります、人間の筋骨が太り逞しくなり、血液の増し盛りは青年時代でありますが其の時には種々の變化が體に起るものであります、聲が變り今までなかつた毛が生へる、生理的の變化の無いものは不具者、變るの

自覺して同じ變るものなれば立派に變り立派に發育をしようと思懸けるものが立派な人となるのであります、此の様な自覺をせず考へないで居ると立派な發育變化をすることが出來ず老年に及んであの時今少し考へたらよかつた後悔する様になりますそののみならず外に心理上に於ても同様の事があるものであります、即ち腦髓の發育盛りで物を記憶したり物を考へたりする之れ等の發育で此の發育は青年の時であります、西洋の研究調査によると十六歳前後が最も盛なといふことであります、人に依りて早く發育するものもあり晩く發育するものもあります、十七八の頃がすべて盛なものであります、此の時代が最も盛な時と自覺する人は此の時勉強せねばならぬことを自覺する人であり、昔から青年に學問を勸むるはこれであり、詩にも文にも多くいつてゐます。

勸學の詩
 盛年不重來、一日難再晨、及時當勉勵、歲月不待人、
 若い時は二度はないぞ其の時よく勉強せねばならん老てしまふと云つてゐる之れは青年の勉強勉學を勸めたものであります

少年易老難成學 一寸光陰不可輕

如何にも年月の早くたつと言ふ詩、青年の發育時期に勉強せねばならぬ此の時代に於て夜學朝學をやり金錢が融通するならば書籍や雜誌や新聞を購讀し又聽講等に注意するが宜しい、これに注意をする人は晩年に立派な人になる人であり、さうでなければ後悔することになります、今一つ著しい變動は體の變動と共に順かに氣色のさす時で女に接したがる様になる諸君が今おどかしい様にしてゐても駄目である之は偽はらざることで諸君自身の心で自然に教はる、親も教へない人も教へない、當然體の變化に伴ふて來るものであります、然れども此の色氣といふものは神様が相當の時期に之を満足させる方法を造つておありなされる、即ち相當の時期が來ると妻君をとることが出来るので慾は充される、神様が示されたことに叛くと罰を被ります、之に従はないと體を破り人前に耻を受ける病氣で子孫までを害し大にしては家を亡はし子孫が絶ゆる様になります、故に賢い人は學問をして道理が明ると色慾を巧みに抑へるものであります、豊臣秀吉は愛知縣の中村に生れ子供の時から豪氣なきか人でありました、若い時家を飛び出してこもを被つて寢たこともある、遠州の濱松から一里半ある城主松下嘉

兵衛治に仕へ木下藤吉郎と名乗を擧げ將來英雄とならうとした、豪傑となつた位だから此の人は少年時代から違つて實に眞面目な働き手でありました。

顔は猿の様にあつたといふが皆より違つて見ゆる、其の松下の家老の林と云ふものが藤吉郎の俊才を眺めるに常の人と違ふ、將來名をなすはあの男と目をつけた爾來注意するに悉く抜群で林は其の才に全くはれてしまひました、此の家老は自分には男の子は無い娘がありまして養子に入るのでありました、松下の家中にて絶世の美人であるから養子の望みでは多けれぬ娘の養子にするには藤吉郎に優る男は無い、希くは之を養はうとし藤吉郎に意中を聞いたことがある、藤吉郎は平にお断り申すといつた。家老曰く然らん然らん彼れの返事なさは當然である彼れは普通の人は違つてゐる、釣り合はぬと云ふ位は知る人だ然し今一度談して見よう、不釣合は承知である是非にと言はした、藤吉郎は又斷る幾度希望しても希望しても度を斷る、家老は不審を抱いて普通の人なら飛びつくが之れは自分の娘に何か行き届かない處がある何故かと斷る所存を聞けども聞けども藤吉郎は言はない、否其の理由を言へと言はれて曰く此の木下藤吉郎は家老職に望まれて絶世の美人に釣られる様なそんな小な男で

ないで申した。
 諸君亂世の世の中立身出世を希ふ世の中に於て此の様な返事をした、流石に秀吉であります、色慾の盛んな青年時代に斯ういひました、即ち青年時代の鍛はねばならん時代に家老美人の女風情に捕らはれる時でないで自覺したのであります、是が晩年太閤秀吉となつて後世名をなした所以であります、是で松下家をピンと飛び出して當時有名な織田信長の草履取から初めてやりなほしました、其の後あらゆる艱難と戦つて修業を積み四十幾つで城主となりました、此の困難修業こそ秀吉を作つたのであります。

西洋のナポレオンにもこれと同じ様な事があるナポレオンはコルシカの一貧家に生れ十七八歳頃佛蘭西の巴里に出ました、目が涼しく立派な男振で所謂眉目秀麗であるから巴里のある下宿屋の娘はぞつこん惚れこんでつけ文をした、思ひの意中を洋服のかくしに入れることが再三であつたが讀んだものか讀まないものか一向明らない、そこで眼で物を言はせて見るけれど明らない、之は尋常一様では行かぬと悟つて遂に娘は直談判に及んだ、或る時ナポレオンは獨部屋に勉強して居ると娘はひそかにナポレオンの部屋に入りナポレオンが机に向て讀書をして

ゐる後ろに立つて「もうし、もうし」とやつた、けれども一向知らぬ顔で一すも感ぜない、背を打つても知らぬ風で讀書をしてゐる、娘は意中を話さうとするけれども聞かない、あなたは木か石か返事もなさらないとはうらめしい、私の血は煮え跳る、心臓が涙を打つ鉄をもつて心臓を開いて見せませうなど曰ふ、ナポレオンは振り向いて大聲で「このうそつきめ」とやつた。挨拶にも程こそあれ、あまりの事に娘はぼんやりした。ナポレオンは娘に向て愛する愛するといふではないか愛するならば何故に勉強を妨げるか、愛する人の出世をなせ邪魔をするか、今日學ばざれば勉強する時はないと言つた。

諸君此の道理に娘はしほ／＼と部屋を出て行つたといふことである、此の言こそナポレオンが出世したので此の時娘にとらはれたら英雄となる事が出来るか名を擧げることが出来るか決して出来ないであります。青年の時期は色慾の盛な時だから考へ無き青年は秀吉の淀君の愛にはだされたのや、ナポレオンが皇后を二人まで置いたことなど見て英雄色を好む英雄たらんと欲せば宜しく女郎買をすべしなど曰ふが青年時代にそんな事ではいかん、そんな青年が何を、夫れは皆秀吉もナポレオンも晩年の事て決して青年期では無い山口縣には英雄

が澤山出てゐるが青年時代に色に溺れた人は一人も無い年を取つてからの事のみを見て若い時を思はざるは甚しき謬で生理的に考へて最も諸君の勉めねばならぬ時期は青年期であります。

諸君一等國の人として我が國の様な體格の悪い國は何處にもない、私は丈が五尺八寸あるがこちらの宿屋は當りまへに歩けない、けれども亞米利加に行くときこれで女にでも仰いで物を言はねばならん、あんな情無い事は有りません、外國人は立派な體格を持つて生れた以上死ぬことが越えて長壽で子供の時死ぬことも少い西洋人は男子一人の平均量は十八貫を本體として居ります、日本人は富の少いと共に體も貧しい諸君の中に十八貫の人が何人あらうか、之が貫目が足らんと言ふのはだらう、日本國民として國民を立派にしなければ國民の價値が上らぬ、此の體を作るのは青年期であります此の時代に於て規律的生活をするが宜しい屹度體は出來ます。

朝起(五時半か六時か) 水浴 驅足 端座 朝の食事
 働 晝食事 働 入浴 晩の食事 讀書 運動 就寢
 この順に斯くして繰り返へさるゝ時は體はめき／＼増大します、私が青年幹部養成をするに此の規律生活を五日やつた丈で体量を量つて見るに最も多いのが七百六十匁

又最下でも二百匁増加してゐる、規律ある生活をせねば駄目です、就中朝起は最も大切であります、東海道方面は各町村悉く五時半には起きることをやつて居る、自覺してゐます。御當縣でも萩の香川政一さん大島郡の山本校長さんも来て見られた、若いものが七時八時までも寝てゐるものはありません、自覺して来て居ります。

青年時代は粘り氣の強いもので梅の若芽の様なものであります、梅の芽か春青々と伸びて居るのを折らうとするけれど折れないおれに似てゐる。昔から日本には世界にない文字がある、働くと言ふ文字、勤めるといふ文字は世界に有りますが「骨を折る」と言ふ言葉は世界に無い此の言葉は青年に限られて居ります、老年は骨を折つたらそれきり、青年が骨を折るのは何でも無い直ぐなほる。骨折は青年期であります、實際學校で柔道をやるに手足を毎年一人二人は折る、ボキンボキンと折る、夫れをセメントで固めて一二ヶ月は不自由をするが手術をすれば直ぐなほる、青年は骨を折る處までやる勇氣があれば一本位折つて見ても宜しい、鍛錬は青年の特長であります、暑い寒いを言はず鍛錬して老年のよくなる事の出來ないことを青年がやるのであります、粘り氣強い時代に鍛錬するが大切であります少々無理をしても宜しい、私

はやりました、無理は今はやりません、白髪があまり
す、私は三十になるまで寒中水泳をやりました、校長
には二十九の年になりましたが三十の年の一月十二日矢
矧川に泳ぎに行きました、三十を越して青年でないこと
を自覚しました、青年時代には寒水は更に冷くありませ
んが、三十になつて二分間で體がしびれてつめつても痛
く無いことがありました、そこで覺つて止ました元や
つた経験があります、私は加州金澤前田家の家臣であ
ります。彼のおたりは私丈で無い大概皆やつたものであ
ります。

昨年十一月青年幹部養成をした際にも朝五時半に起きて
必ず矢矧川に押し入れたものであります、夫れは青年時
代に限る。

私の縣の西加茂郡に猿投山といふ山があります、夫れに
日本武尊の御兄大白の命の御墓があります、宮内省から
墓守がつけて有ります、二千百尺の高さがあります此の
郡の青年大會は毎年十一月一日に行ふ事と定めてありま
す、會場は此の猿投山であります、昨年は大風雨であ
りまして青年團員はすつかり肌まで濡れ通りました、登つ
たものは千七百何十名でありました、それが天氣の都合
が悪く百姓が出来ないから登つたと言つてゐました、口

では易いが暴風雨とはつらい、今年是好天氣で樂であり
ました。

又碧海郡には二十六ヶ町村あります、此の中安城町に居
る團員は約六百名居ります、之は毎月水曜日の朝軍隊の
通りの兵式教練をします、必ず毎年一回郡大會を聞いて
各町村が兵式教練をします、斯の山の無の所は教練をや
るのが特長であります、大抵二十六ヶ町村から青年が六
千人から集ります、一町村毎に隊を整へて一定の簡單な
装束で草鞋股引を穿き喇叭で會場に練り込み集る順に整
列をします、此の大會は各町村の訓練の試験場でありま
す。

事業は六千人が二隊に分れ對抗演習をします、土屋陸軍
大將が審判をせられたこともあり、此の中の高岡村の
青年の教練は最も見事で參謀次長の田中陸軍中將も視に
來られました、先きに福島大將が善く出來てゐるのに驚
かれました、此の青年が毎年一回名古屋まで八里が間視
察旅行をしますが其の途中演習をし縣廳に行つて講話を
聞き練兵場では六百人が現役兵の前で正々堂々隊を整へ
て立派な教練をします銃は皆木銃であります、昔の屯田
兵の様であります、夫れが通る時は名古屋の電車も自働
車も避けます斯く立派な規律のある行動か地方に影響し

老人達も奮起し地方の風が善くなり、それが將來
の日本を負ふ青年のする事であり、夏になれば富士
登山をし道中あらゆる艱苦嘗めず。

徴兵検査の成績は年々善くなり一昨年の如きは二百五
十人を餘分に徴集せられました青年に由て在郷軍人も刺
戟せられて黙つては居られなくなり活動を始めます、山
縣元帥は成績を褒めて感状を下されました、此の指導者
は一年志願兵の陸軍中尉であります、伏見宮殿下からも
感状を受けました、青年の身長も目方も増し病人も尠く
なりました、此の立派な結果は青年時代の鍛錬の賜であ
ることはお分りであらう、精しい事は著書の我が青年及
青年團といふ書物をご覧を願ひます神に祀られる乃木大
將を出してゐる長府及び附近の青年諸君は宜しく日本人
の身體の貧弱を自覺し大なる鍛錬をせられんことを切に
希望して止まんものであります。

更に希ふのは頭の善い物覺のよい時代を充分利用せら
れる様にありたい。諸君の今頃は父老の働かれる時であ
ります、この割合に閑な時代は修養に最も都合のよい時
であります、此の時代に於て十年二十年の前途を見透さ
ない様な事では貧弱であります、夜學に小學校で習つた
ことを復習するとは情ない諸君は近眼ではつまらない。

我が國の如く一等國になると自國の言葉と外に外國の言
葉を一つ位知らねばならぬ其の必要は益々生じます長府
の驛に行つて見ても西洋の文字と日本の文字と二通り書
いてある、理髮屋に行つて見ても二通り書いてある、マ
ッチにもシヤボンにも、齒磨にも外國の文字が書いてあ
ります、之れは自分の國の文字の外に、一ヶ國位の外國語
を知らねばならぬ必要のある事を證して居りますこれも
ガラスの湯呑といははす、コップと言ひませう、之れで
もチェックと言つてゐます、諸君既に外國語を遣つて居
るではありませんか、一等國民となつたから是非外國語
の一つ位は知らねばならぬ、夜學でも進んで請求せねば
いけません、よく出來るならば會社でも銀行にでも立派
な位置に上られ出來ると出來ないと依つて同じ體の丈
でも賃金が差があります、名古屋方面の青年は自ら
立つて學舎を起してゐます、教師は之れに強られてゐる
有様で彼等は將來の準備を自覺してゐます、關門を控へ
てゐる當地は如何でありますか、其の準備に氣附かない
青年諸君は餘りに迂濶ではありませんか。文字の書き方
にしても豎に書くのは日本古來の風ではありますけれど
も、今日は銀行諸會社の帳簿は總て横書きであります、
其他凡ての用紙は横書きを多くせうとしてゐる然るに未だ

一筆啓上の堅書さへも満足に出来ないとは呆れた事であり、註文書を見ても萬年筆やら、ペン鉛筆で書く様になつてゐます。

又數學も算術丈ではいけない、多い數から少い數を引く事は算術で出来るが、少い數から多い數は引けない、今から先はこんな算用は度々入る、例へば懐に八十錢しか無い時一圓の買物をする場合は80-100でなければならぬ、是れは算術で出来ない、代數なら直ぐ出来る即ち80-100=20となる、將來こんな算法は頗る多くなる、將來は算術ばかりではいけない、代數も知らねばならぬことを自覺せねばなりません。

諸君將來活動する青年が此所を覺らねば如何して活動しますか、俗歌の様知らないでよいものを知り讀まないでよいものを讀む様なものは如何して活動しますか、此の地方では補習教育を整へて盛んにするといふ方針であるさうですが誠に結構な事で大に賛意を表します、將來の事業は専門であります、農家は農業上の知識を開発し、工業家は工業上の知識を開発し、商業家は商業上の知識を開発して行かなければなりません、其の専門の知識が無いと將來決して優者たることは出来ません、青年時代の頭腦の善い時であり、働き盛りの時であり、明敏

な時であるといふことを覺る時は飯を食ふ時にも讀書し學ばなければ眠られないといふ域に達します。

乃木大將の御屋敷に行つて見ると米を搗きながら大學か論語がお読みになつて居る、それがあの神人と稱せられ偉大をなした所以であります、これ目前の教訓ではありませぬか、此の時逸樂を食ふものは將來必ず罰を被らねばならぬといふ事は私が言はずとも分つた事でありませぬ。諸君自覺がして貰ひ度い、而して今から先の世を見て勉強をして貰はねばなりません。

青年は初めに述べた如く青空の様には氣宇が大で無ければならぬ、抱負が大でなければならぬ、希望が大でなければならぬ、理想が大でなければならぬ。

毛利家の御祖先は元就公であります、嘗て嚴島に參詣せられた時、元就公は從者が念じ拜むのを見られて從者に何を念じたかと尋ねられた、其の時從者は公が一國一城の殿様になられる様に念じましたと答へた、元就公は之を聞いて、そんな小さい希望を何にするかと言はれたが即ち之れであります、昔から十を願ふて一が叶ふと言つて居る、青年は考が大きくなければならぬ、然し徒らに大きいと言つてすませるのでない即ち今日に於ては小さくも一國の爲めと言ふことを信念にわいて相成るべくは

世界人類の爲を考へて希望を起さねばなりません、美食美衣美住美人を求める様な情ない希望を持つてゐるものは箸にも棒にもかゝらん小さい考では青年の名折れであります、此の五尺の體は小なりと雖も六千萬人の爲に將た國の爲になる様に國家に忠なれば之れ此の體は國家に擴がるのであります、此の考を持つて立つ時は更に働き更に學ばんとする自覺も生じ勇氣も生じます、勉強をせねばといふ氣も起り健康でなければと言ふ氣も起ります、希くは斯うして大きな氣宇を懷かれないのであります。

特に山口縣は世界の大勢を視て我が國の開発を指導せられ明治の代をつくるに偉大なる勳功をたてられた國であります、諸君の先輩には日東誰か帝威をして盛んならしむと語つた人も有ります、吾吾の敬慕してゐる高杉晋作も當縣の出身であります、其の後嗣がしみつたれたら山口縣は末であります、先輩の顔に土を塗るのであります、願くは先輩に劣らぬ様に諸君の希望、抱負、理想は雄大である様に私は諸君に望み忠告をするものであります。

又青年は未熟を覺つて勉めたならば人から生意氣と評せられない人の言ふ事を聞かねばならぬといふ様になり未

熟を自覺したならば必ず準備修養といふことに氣附くのであります。既に青年團組織が出来修養の機會も出来た以上は大に準備修養をせられることを希望致します、是等の事を人から言はれない内に氣の附くのが即ち青年の自覺と言ふものであります。

諸君世の中に監獄所といふもの、在ることを知つて居られるでせう、東京の巢鴨に行つて見るとつぎ當りが監獄で其の横手に養育院がある、之れに付て面白い事がある、養育院には自分で食ふことの出来ない親も無い者、親族も無い者、子も無いものなどを入れて國家が飯を食はしてやるので有ります、之れと監獄が並べて有る、悪い事をすれば監獄へ行く、食へない様になれば養育院に行くに參考に申しますが養育院に二十六年間院長を勤めた安達憲忠と言ふ人が、そんな原因で養育院に入る様になるかを入院者に就て調べて居た、入院者は年平均小人が五百人、大人が二千人あるといふ、之れは東京丈であります、而して其の入院原因を調べて見るに

一 我利的觀念強きもの

即ち自分の事のみを思ふて國家他人を考へないものであります、口のことを考へ、身のことを考へるのである、夫れは盛んな時は善からうけれども一朝つまつき

の出来た時は誰が助ける、そんな者は社會から捨てられて仕舞ふからであります、國家他人を考へない人は巢鴨行きの資格者であります。

二忘恩者

親の恩人の恩、國の恩一切を忘れるものであります。三田舎者

比較的田舎者が多い、之を考へるに智慧が少いやり方が下手、道を求め得ない、夫れで多いのでせう。

最後に借虐めのお話をしませう、私の紋は小槌であります、之は物の欲しい時に振ると何でも出て来ると言ふのである、此の道具は大黒様を持つておいでなさる、大黒様は出雲の神社に祀つてある大國主の命であります、事代主の命はねべす様であります、私が嘗て神社に詣り前に拜んで紋所の小槌の實物を拜借致し度いと曰ふことを念じた、神様の仰せに既に萬人平等に小槌は與へてあるでは無いかとのことであつた、熟々考へて見るに之れ此の小槌は頭に違ひ無い、誰しも困つた時振るものは頭である、之は必ず振ります、何か問題にぶつかつた時振る、そうかと云つて振る前後左右に振るものであります、而

して何も出ない時は目から涙が出る、口から溜息が出る、極度になると歴世となります。大黒様の小槌は之を諸人に示さうとせられたのであります、此の大切な物にこんな物を入れますか、此の器にはどれ程智慧を入れても破れません、どれ程出しても縮みません將來何でも望みの物を振り出さうとするものはしつかりお入れなさい、智慧を入れる穴は出来てゐます、目から、耳から、諸君善いことを見給へ、善いことを聞き給へ、立派な知識を之から入れなければ將來之を振つても何も出ません、遂に嘆息となり監獄行きとなり養育院行きとなり、諸君此の點から考へてもどうぞ青年期を自覺せられ度い、衷心希望して止まないものであります。

庶務

大正七年度前期縣稅納稅狀況

公租滯納の矯正に付ては郡長各地巡視其他各種機會を捉へて督勵する所あり各町村に於ても亦各種適切なる手段方法を講究して極力納稅獎勵に力を致したる結果町村民の自覺を促し近時本郡の納稅狀況著しく良好なる成績を

收むるに至り即ち本年度五月納期に屬する前期縣稅地租割、營業稅、雜種稅及戶數割に就き調査するに椿郷東分、椿、三見、明木、佐々並、川上、地福、六島、見島の九ヶ村は各稅共完納せり其の他徳佐、嘉年、吉部、紫福、大井、奈古、宇田郷、福賀、須佐、彌富、小川の如き滯納者數人を算するのみされと郡全体を通算せば尙地租割三十二人、營業稅九十三人、雜種稅百三十二人、戶數割百六十六人計四百二十三人の滯納者あるは遺憾とする所なり而して滯納者の最も多きは萩町の二百七十人にして滯納總人員の六割四分を占む之れに次くは山田村の二十七人篠生村高俣村の二人生雲福川村田万崎村の十三人とす然れども是等滯納者中には鐵道工夫或は鑛山鑛夫其の他所在不明に屬するもの多數なるが故に其内容を精査するときは成績良好なるもの尠からず就中椿郷東分村及見島村の如きは從來納稅成績至て不長毎期數百の滯納者ありしか今期一躍して完納の實を擧ぐるに至りたるは村當局の勞を多とすべく萩町に於ても今回納稅獎勵規程を設定して極力督勵することとなりたるを以て近く面目一新するに至るへし之を要するに前年度前期縣稅滯納者四百八十人に比し五十七人同後期に比し百二十七人を減少したる如く本郡の納稅狀態は著しく改善の歩を進めつゝ

あり(參考資料參照)

郡設衛生展覽會

本郡に於ては毎年郡設衛生展覽會を開設して一般公衆衛生思想の喚起向上に努むる所ありしか本年亦郡内篠生村外五ヶ村に於て之を開設し講師は郡吏員、所轄警察官及開設地の醫師之に當り良好なる成績を收めたり其の狀況左の如し

開設月日	開設場所	參觀人員
四月二十三、二十四日	篠生尋常高等小學校	六四三
四月二十六、二十七日	吉部尋常高等小學校	一、〇三八
四月二十九、三十日	福田尋常高等小學校	一、二三八
五月二、三日	宇田尋常高等小學校	一、二四四
五月五、六日	三見尋常高等小學校	八八三
五月八、九日	佐々並尋常高等小學校	一、一三三
計		六、一七九

村役場位置變更

本郡福賀村役場は同村大字福田下字野坂第九百七十一番地の一に在り敷地建物共に狹隘にして執務に適せざるのみならず道路に遠隔して不便尠からず加ふるに近時著しく廢頽せるを以て現在役場位置より南方約六町道路より

十間を隔つる同字格第千三百四十三番地及同字第千三百六十五番地を選定し總費額五千圓を投して敷地四百坪に移築許可申請中の處客月十三日本縣知事より許可せられたるを以て近く起工すべく大正八年一月中には移轉の計畫なり

條例許可

大正七年五月二十五日 奈古村助役有給條例廢止條例

學事

第二回阿武郡青年團聯合體育會

聯合體育會

第二回阿武郡青年團聯合體育會は四月二十九日より五月十一日間に於て郡内六ヶ所に於てこれを舉行したるに其の成績甚良好なり今その實施狀況及成績を示さば左の如し

聯合體育會規則

第一條 本會は阿武郡青年團員の体力及氣力の増進を促すを以て目的とす

第二條 本會は阿武郡青年團聯合體育會と稱す

第三條 本會は第一條の目的を達する爲郡内を左の六部に分ち毎年一回聯合體育會を開催するものとす

第一部 萩町、椿郷東分村、椿村、山田村、三見村

第二部 明木村、佐々並村、川上村

第三部 嘉年村、高俣村、吉部村、福賀村

第四部 須佐村、彌富村、小川村、田万崎村

第五部 福川村、紫福村、大井村、奈古村、宇田郷村、六島村

第六部 篠生村、生雲村、地福村、徳佐村

但部の區域は時宜により變更することを得

第四條 本會に参加する青年は各町村青年團員の全部とす

第五條 各部會には會長副會長各一名評議員及委員若干名を置く

評議員は關係町村青年團長及副團長之に當り會長副會長は評議員之を互選し委員は會長之を囑託す

第六條 本會に要する經費は阿武郡青年團及關係町村青年團の負擔とす

第七條 本會に關する細則は各部に於て之を定むべし

實施方法

一、開會日時及會場

- 第一部 五月十一日 明倫尋常高等小學校
 - 第二部 五月二日 明木尋常高等小學校
 - 第三部 五月三日 高俣尋常高等小學校
 - 第四部 五月六日 多磨尋常高等小學校
 - 第五部 五月八日 奈古尋常高等小學校
 - 第六部 四月廿九日 地福尋常高等小學校
- 當日雨天なるときは順延とす此の場合に於て他部の期日に影響を及ぼすことなし

二、開會及閉會時限
開會午前九時 閉會午後四時
但部内評議員の協議により時限を變更することを得此の場合に於ては豫め郡長に報告すべし

- 三、舉行事項
 - 一 開會式
 - 會長開會宣言、唱歌君か代二回 會長開會の辭
 - 一 徒競走
 - 一 綱引
 - 一 擊劍 柔道 角力
 - 一 青年團体操(聯合又は青年團別)
 - 一 閉會式
 - 審判報告 賞狀授與(郡長) 郡長告辭
 - 會長閉會の辭 萬歳三唱(第何部體育會、會長)
 - 會長閉會宣言
- 但舉行事項部の都合により加除することを得此

四、競技
の場合に於ては豫め郡長に報告すべし

一 徒競走は身体上の故障なき限り全員参加せしめ其の距離は三百米突成績採点法は甲(五十五秒以内) 三点、乙(六十秒以内) 二点、丙(六十秒以内) 一点とし参加人員を以て其總得点数を除したるもの成績点とす但成績点は小數二位に止め四捨五入法による

二 綱引の参加人員は部内の申合せにより之を定め其勝敗は左の方法によりて定む

例五ヶ町村参加の場合には次の如き組合せ及順次により施行すべし

甲村青年と乙村青年、丙と丁、甲と戊、乙と丙、丁と戊、甲と丙、乙と丁、丙と戊、甲と丁、乙と戊、勝組には二点敗組には一点を附し合計点最多の組を優勝とす

三 擊劍、柔道、角力は各組勝者を定むるの外更に優勝者各三名を選出すべし

四 青年團体操は可成全員を以て行ふものとす

五、賞狀
優勝團體及個人に對しては凡て郡長に賞狀の授與を申請す

徒競走に對しては團體賞狀の外別に優勝者三名に對し賞狀を授與す
 擊劍、柔道、角力に對しては最優勝者三名に特別賞狀授與の外各勝者に賞狀を授與すへし特に指定の賞品を寄附するものあるときは之を受理し授與することあるへし
 六、其他
 擊劍、柔道、角力の審判員は各部に於て相當人選の上之を依頼すへし
 青年團員徽章、服裝、及案内先案内狀等は凡て前年小學校兒童聯合體育會の例による
 阿武郡青年團より各部に支出する金額は五圓宛とす

青年團聯合體育會成績

部	一第	部	二第	部	三第	部	四第	部	五第	部	六第
萩	一 米原彌吉	須	一 須佐	高	一 高俣	嘉	一 嘉年	明	一 明木	藤	一 藤井榮吉
椿	二 金子貞六	大	二 大末若耕作	吉	二 吉部	高	二 高橋稔	西	二 西村太吉	野	二 野上彦五郎
山	三 山根秀	紫	三 紫田道藏	賀	三 賀部	嘉	三 嘉年	林	三 林要一	野	三 野村謙三
見	四 山根秀	福	四 福川	賀	四 賀部	高	四 高俣	西	四 西村太吉	野	四 野上彦五郎
三	五 山根秀	福	五 福川	賀	五 賀部	高	五 高俣	西	五 西村太吉	野	五 野上彦五郎
三	六 山根秀	福	六 福川	賀	六 賀部	高	六 高俣	西	六 西村太吉	野	六 野上彦五郎

佐々並尋常高等小學校教育施設一般

教育方針、教育に關する勅語の趣旨を奉戴し、且つ小學校令第一條に基きて健全なる國民を養成せんことを期す。

(一) 學校教育



- 一 教授の徹底
- 二 兒童の自發力養成
- 三 教授上の注意
- 教授目録
- 教授研究

一 各教科目教授ノ要旨ニ適合スルコト
 二 各教科目ノ教材ニ精通シ、之ヲ具体化シ、人格化シ、郷土化シ、實用化スルコト
 三 各教科目ノ教授ニ必要ナル知識ノ確實ヲ期スルコト
 四 各教科目ノ教授ニ必要ナル技能ヲ習得セシムルコト
 五 各教科目ノ教授ニ必要ナル態度ヲ養成スルコト
 六 各教科目ノ教授ニ必要ナル習慣ヲ養成スルコト
 七 各教科目ノ教授ニ必要ナル興味ヲ養成スルコト
 八 各教科目ノ教授ニ必要ナル進取心ヲ養成スルコト
 九 各教科目ノ教授ニ必要ナル責任感ヲ養成スルコト
 十 各教科目ノ教授ニ必要ナル合作精神ヲ養成スルコト
 十一 各教科目ノ教授ニ必要ナル自治能力ヲ養成スルコト
 十二 各教科目ノ教授ニ必要ナル生活力ヲ養成スルコト
 十三 各教科目ノ教授ニ必要ナル健康ヲ養成スルコト
 十四 各教科目ノ教授ニ必要ナル美意識ヲ養成スルコト
 十五 各教科目ノ教授ニ必要ナル道徳心ヲ養成スルコト
 十六 各教科目ノ教授ニ必要ナル愛國心ヲ養成スルコト
 十七 各教科目ノ教授ニ必要ナル正義感ヲ養成スルコト
 十八 各教科目ノ教授ニ必要ナル責任感ヲ養成スルコト
 十九 各教科目ノ教授ニ必要ナル合作精神ヲ養成スルコト
 二十 各教科目ノ教授ニ必要ナル自治能力ヲ養成スルコト
 二十一 各教科目ノ教授ニ必要ナル生活力ヲ養成スルコト
 二十二 各教科目ノ教授ニ必要ナル健康ヲ養成スルコト
 二十三 各教科目ノ教授ニ必要ナル美意識ヲ養成スルコト
 二十四 各教科目ノ教授ニ必要ナル道徳心ヲ養成スルコト
 二十五 各教科目ノ教授ニ必要ナル愛國心ヲ養成スルコト
 二十六 各教科目ノ教授ニ必要ナル正義感ヲ養成スルコト

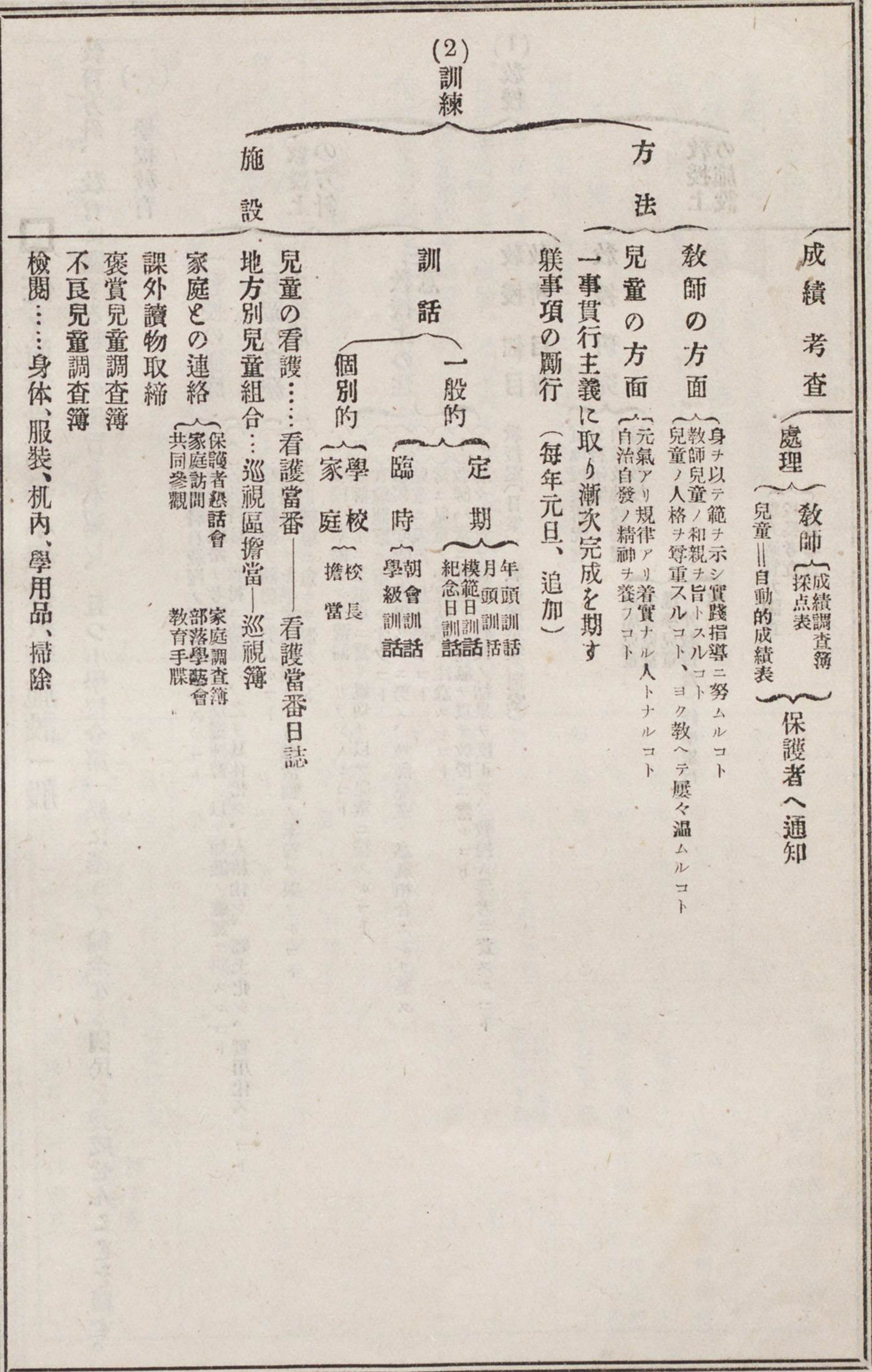
方法

- 郡共通實力調査
- 校長考査
- 擔當考査

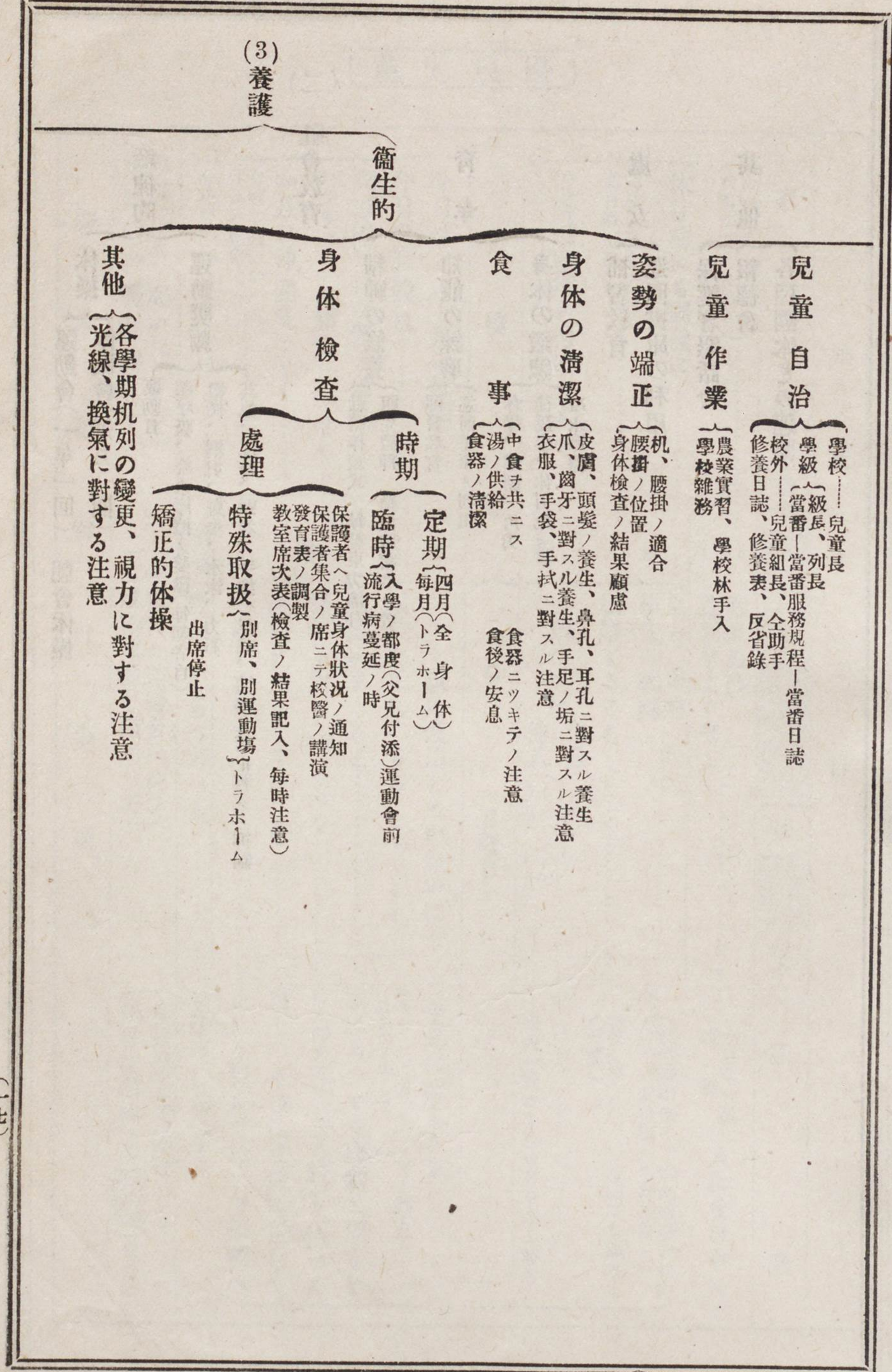
- 缺席兒童
- 劣等兒童
- 進學兒童
- 外教授及ビ修學旅行

部	一第	部	二第	部	三第	部	四第	部	五第	部	六第
萩	一 米原彌吉	須	一 須佐	高	一 高俣	嘉	一 嘉年	明	一 明木	藤	一 藤井榮吉
椿	二 金子貞六	大	二 大末若耕作	吉	二 吉部	高	二 高橋稔	西	二 西村太吉	野	二 野上彦五郎
山	三 山根秀	紫	三 紫田道藏	賀	三 賀部	高	三 高橋稔	西	三 西村太吉	野	三 野上彦五郎
見	四 山根秀	福	四 福川	賀	四 賀部	高	四 高橋稔	西	四 西村太吉	野	四 野上彦五郎
三	五 山根秀	福	五 福川	賀	五 賀部	高	五 高橋稔	西	五 西村太吉	野	五 野上彦五郎
三	六 山根秀	福	六 福川	賀	六 賀部	高	六 高橋稔	西	六 西村太吉	野	六 野上彦五郎

(2) 訓練



(3) 養護



(二)

社會教育

鍛練的

運動會(一年一回) 朝會体操
体操會(每月一回)

運動獎勵

運動日
深呼吸、冷水摩擦ノ獎勵(毎朝各自)
相撲、綱引、駢歩、水泳、力石
其他、厚着、頸巻、手袋、足袋、懷手ノ禁止若クハ抑制

精神の修養

勅語捧讀式 毎朝東方遙拜
祖先禮拜 勤儉貯蓄心ノ養成

青年

知能の鍊磨

補習教育
巡回書庫ノ利用

身体の鍛鍊

体操、擊劍、角力
徒競争、体力比べ
冷水摩擦

處女

補習教育
巡回書庫の利用

其他

保護者懇話會
報德會
各種団体との連繫

優良兒童

家庭	途中	校	途中	家庭
<p>家 庭</p> <p>休む前にも同様に 明日も早くから 明日はせひごも 近所近邊氣を付けあふて</p>	<p>途中</p> <p>行</p>	<p>校</p> <p>元氣あれ 運動をよくせよ 東方遙拜 祖先の禮拜 出席すること 言葉づかひ 自分 他人</p>	<p>途中</p> <p>家</p> <p>今日も元氣に 運動に人にまけず 皇室御繁榮ご。御先祖様のわか けて。父母様へも挨拶 早く學校へ。一時間でも遅参も せずに 家内一同心を合せ名を呼ぶ時も</p>	<p>家庭</p> <p>今日は前よりも 今日ひまで休むから 今日は學校の(懇話會) 會だから</p>
<p>模範</p> <p>今日はノート類の檢閲を 今日の服装は 先づ第一に身體と着物 いつもキチンと始末をつけて お互ひ仲間も なぜに遅いか 今日の税金で 今日のおさらへは</p>	<p>日</p> <p>(月曜日)</p>	<p>日</p> <p>ノート類の使用をていねいに 服装を正しくすること 清潔にすること 整頓(正しく物を置く) 禮儀を正しくすること 路わるさをせんこと 學科(自分でしらべ考へる)</p>	<p>日</p>	<p>日</p> <p>學校で見え聞いたことを 家庭の教育材料とす 學校にお苦勞をねがひ 或は御家庭を訪問して</p>

第一回全國青年團聯合大會

這回青年團中央部ノ主催ニテ全國各府縣青年團代表者並ニ各都市青年團代表者ヲ東京市ニ集メ去ル五月五日ヨリ全七日マテ三日間ニ亘リ第一回全國青年團聯合大會ヲ開催セラレタリ余ハ本郡代表者トシテ全會ニ出席シ得ル所尠ナカラズ就中新宿御苑ノ拜觀及御茶菓ノ御下賜ニ浴セシカ如キ光榮身ニ餘リ 聖恩ノ優渥ナルニ感泣セリ今左ニ大旨三日間ニ於ケル概況ヲ記述スヘシ

第一日(五月五日)

午前八時より東京帝國大學法科大學八角講堂に於て開催せらるる參會者千餘名四十八班に分れ定刻前全部參着せりやがて定刻第一振鈴響き渡るや參會者は三方の入口より會場に進入第二振鈴と共に内閣總理大臣代理後藤外務大臣水野内務大臣岡田文部大臣大嶋陸軍大臣加藤海軍大臣井上東京府知事を始め多數來賓の入場ありてさしもの廣き大講堂も一の空席を餘さず頗る壯觀を極む

斯くて一同起立青年團中央部理事伊達源一郎氏開會を宣するや陸軍戸山學校軍樂隊五十名大内樂長指揮の下に君が代の奏樂あり青年團中央部理事早川千吉郎氏は教育勅語並に戊申詔書ノ捧讀をなしたるや青年團中央部理事樞密顧問官法學博士一木喜徳郎氏の開會の辭ありて各大臣の獎勵の辭に移る先づ内閣總理大臣代理後藤

外務大臣の告辭次に水野内務大臣岡田文部大臣大島陸軍大臣加藤海軍大臣仲小路農商務大臣の告辭井上東京府知事の歡迎の辭にて式辭の終りを告げそれより司會者伊達理事の推薦に依り一木理事は壇上に進み本大會の宣言文を朗讀するや滿場拍手可決せり宣言左の如し

宣言

青年團の施設は近時著しく進境を見る然れども現下の時局に顧み戰後の趨勢を稽ふるに其内容の充實と實質の洗練と兩つなから更に一段の策勵を加ふるを要す自今益結束を固ふし歩武を一にし相率ひて青年團の本旨を貫徹し以て國家の進運に貢獻せんことを期す

大正七年五月五日

第一回全國青年團聯合大會

右終るや陸軍戸山學校軍樂隊は弦樂に合せて雄大豪壯なる「帝國青年の歌」を奏唱せりそれより講演に入り參謀本部第二部長高柳陸軍少將は「歐洲戰爭の推移」と題し大地圖を掲げて一時間餘に亘れる熱辯を揮ひ次に法學博士子爵田尻東京市長は質素なる例の詰襟洋服の扮装にて「誠」に關する講演を諧謔を交へて辯じ最後

國防」と題する講演あり茲にて休憩を宣し一同控所に入りて晝食す

午後二時再會協議會を開けり主宰者は青年團中央部理事參謀次長田中陸軍中將にして協議題左の如し

- (1) 全國青年團指導要項
(2) 全國青年團聯絡要項

右二項に關しては討論を用ゐずして可決せんとの希望なりしも會員中種々意見の陳述をなさんとするものあり場内稍緊張の氣漲りたるも結局左記決議文の通り可決し午後五時一同散會せり

決議

一、青年團體に關する内務文部兩大臣訓令の趣旨を体し徹底したる實行を期すること

二、市町村内の數個青年團は勉めて之を統一し道府縣郡等に於ては各其管内青年團の指導に關し確定せる方針を遂行し青年團中央部は全國青年團の聯絡指導の任に當ること

右決議す

大正七年五月五日

第一回全國青年團聯合大會

第二日(五月六日)

本日は午前中新宿御苑拜觀の豫定なりしを以て一同午前八時迄に青山原の北端に參集し第一組(第一班より第十五班まで)は赤旗の下に第二組(第十六班より第三十一班まで)は青旗の下に第三組(第三十二班より第四十六班まで)は黄旗の下に夫々四列縱隊に整列し誘導係員の人員點呼參會証の檢閲を受け出發の用意をなす斯くて午前九時に至り係員の誘導に従ひ四列縱隊を以て順次續行し新宿御苑表門より參入せり參入後は宮内官の誘導に隨ひ御苑内を拜觀せり今御苑内御模様の一斑を記し奉らん先づ表門に入るや通路の西側には亭々たる樹木の間隔正しく今や新緑滴らんばかりにて覺えず襟を正さしむるものあり漸く進めば百花咲亂れ綾羅を織りなせる花壇青氈を敷けるか如き廣漠なる芝生或は老杉古松の蒼鬱として枝を交ゆるあり上水を高地に引き飛瀑亂泉の沼地に灌ぎて奇巖怪石其間を點綴して自然の風致を補ひ或は大温室に於ける珍奇なる植物の栽培あり動物園あり或は殿閣茶亭草庵等を適所に置かれ御苑内凡べて天然の美と人工の妙とを盡され閑雅幽邃にして景趣眞に言語に絶す午前十時半御苑内を隈なく拜觀し終りて芝生の廣場に參集せり當日は畏き邊りの特別の思召に依り一同に御下賜あらせらる

べき御茶菓を戴くこととなり指定の場所には列縦隊に整列し一同敬禮の後拜觀者總代として理事早川千吉郎氏御茶菓を拜受す此時一同再び敬禮し總代の拜受したる御茶菓の分配ハ中央部係員の指示に従ひ第一組より二列となりて續行前進し順次分配を受け御苑の通用門より退出せしは正午前なりき

午後は陸軍戸山學校參觀の豫定なりしを以て一同直に同校に至る同校にては校裏の廣々とした芝生に數多の椅子卓子を備付け休憩所に充てられたり一同此處にて晝食をなし午後一時迄隨意休憩することとなり此時山口縣派出員の多數は中央部理事田中參謀次長に面接し親しく意見の交換をなし裨益する所ありたりやがて午後一時となるや一同校庭なる運動場に集合し同校長陸軍歩兵大佐山田良之助氏の「青年の体育に就て」と題する有益なる講話を聞きそれより直に教官陸軍歩兵中尉眞野五郎氏指導の基本体操演全陸軍歩兵中尉光永修一郎氏指導の青年團體操及競技を見學せしが其規律の嚴正演技の熟達には一同何れも拍手觀賞せり少時休憩の後教官陸軍歩兵大尉太田順次氏指導の劍術（銃劍術兩手軍刀術片手軍刀術の基本動作及試合並に柔道劍術を應用せる銃劍術）を見たるが是亦元氣横溢動作敏捷

覺せず快哉と呼ばしめたり最後に三組に分れ三ヶ所の教室にて教官陸軍歩兵大尉林保吉氏同陸軍一等軍醫龜井盛隆氏同陸軍二等軍醫菊地幸平氏の体力測定方法所要器械及び統計表等の説明ありて一同退散せしは午後五時頃なりき

第三日（五月七日）

當日帝國海軍見學の豫定にて一同午前五時より六時までに東京驛に集合順次院線電車に塔乗し櫻木町驛下車横濱港務部棧橋に參集せり此日横濱市聯合青年團は早朝より幹部員數十名整列し各會旗を翻し港務部入口に於て一同を歓迎し港内海上に於ては烟火を打揚ぐる等款待に努められたるは一同の多謝する所なりき

斯くて一行は横須賀鎮守府竹中參謀の案内にて軍艦生駒（一四〇〇噸）津輕（七〇〇噸）の兩艦に分乘し横須賀軍港を見學すべく午前八時三十分横濱港を抜錨せり當日は近來稀有の好天氣にて風なく海上鏡の如く頗る平穩なりやがて兩艦は生駒を先頭に時々隊形を變じ午前九時四十分港内第三号防波堤内に進みたり其時追濱航空隊より丹波三木兩中尉はフ式イの八号十二号機に荒木大西兩中尉はロの七号機に坂本中尉はイの六号機の四機に分乘して飛來し又四隻の驅逐艦は單縱陣

にて吉倉灣を出港し兩艦目懸けて進み來り又潜水艇二隻は兩艦の左舷十哩の海面に浮び來り八号十二号の兩飛行機は編隊飛行をなし或は高く或は低く飛翔して兩艦上を旋回し六号機は着陸又は離水の操縦術を示し七号機は潜水艇が五分時後には檣頭を僅に海面に顯はし潜水状態に入るを待ちて五百米突の高度より盛に爆彈を投下して攻撃を加ふること數回其光景の壯觀言語に絶し八百餘名の團員は帽子を打振り或は拍手喝采して海軍の好意を感謝せりやがて生駒乗組の團員は入渠中なる軍艦河内津輕乗組の團員は同じく山城に案内せられたり此時恰も正午なりしを以て何も上甲板の休憩所にて用意の晝飯を喫し午後一時より限なく艦内を縦覽したる後午後三時三十分再び兩艦に分乘し横濱に向ひ午後四時半歸着直らに一同は神奈川縣會議事堂に於て舉行せる閉會式に臨み有吉神奈川縣知事の挨拶一木理事の閉會の辭參會者總代の謝辭あり一木理事の發聲にて全國青年團聯合大會の萬歳を三唱して式を終り一同退散せり

斯くて三日間に亘れる聯合大會は幹部諸氏の周到なる準備と幹旋とに依り些の支障なく無事終了を告げたり青年團中央部は尙ほ團員の希望に依り大會終了後引續

き二日間市内重要個所（東京砲兵工廠東京日々新聞社府立園藝學校西ヶ原農事試驗場爲替貯金局神田青年會館）案内の勞を執られ余は八日午前砲兵工廠午後新聞社九日午前爲替貯金局午後青年會館を何れも縦覽し裨益を得たること尠しとせず殊に砲兵工廠及爲替貯金局に於て余が參會者一同を代表して謝辭を述べたるは最も榮譽とする所なり

茲に聯合大會の情況を叙し本郡代表者として出席するの光榮を得たることを感謝す

大正七年六月六日

阿武郡明倫尋常高等小學校長谷井磯太郎

兵事

徵兵検査

本年度本郡の徵兵検査は豫定の通五月二十二日より同二十九日に亘り施行せられ全三十一日抽籤を了す其の成績は左表の如くにして甲種合格者昨年比し六〇七を増加し壯丁の志氣態度等良好となり學力試験時の如き靜肅にして其の多くは答案極めて眞面目なりし等喜ぶべきこと

多きは青年團設立の賜なりと信す就中嘉年村は受檢壯丁十四名中十二名の甲種合格者を出し而も花柳病、トラホー患者一名もなく學科の成績亦良好にして本郡未曾有の好成績を得たりしを以て抽籤事務終了後同村青年團及學力試験に於て優良の成績を得し椿、高俣、萩、青年團の表彰式を舉行し左記表彰狀を交付せり

表彰狀

阿武郡嘉年村青年團

本年徵兵検査施行ニ當リ受験壯丁十四名中甲種合格者十二名ノ多キヲ算シ其ノ合格歩合實ニ八五%七ノ最高位ヲ示シ且ツ花柳病及ヒトラホー患者一名モナク學業ノ成績亦佳良ニシテ本郡青年團中援群ノ成績ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

大正七年五月三十一日

山口縣阿武郡長正七位勳六等 岡村勇二

賞狀

第一位 阿武郡椿村青年團

第二位 阿武郡高俣村青年團

第三位 阿武郡萩町青年團

本年徵兵検査施行ニ當リ其ノ團員受檢壯丁學力試験實施

ノ結果郡内青年團中第一、(二)(三)位ノ成績ヲ得タリ今後尙一層ノ奮勵ヲ望ム

大正七年五月三十一日

山口縣阿武郡長正七位勳六等 岡村勇二

軍隊慰問

地方と軍隊との關係を近密ならしむる意義に於て陸海軍に服務しつゝある本郡出身者慰問の爲各町村と共に五月三十一日萩町出發左記日割に依り慰問を爲す各部隊に於ては豫め此旨通報し置きたるを以て當日は勤務演習等に充つることなく或は將校集會所又は營庭に集め全員(海軍は乘艦中のものを除く)に面接するを得又在營者の狀況を詳報之等當局に於て大に便宜を與へられたり出身者は概ね志氣旺盛身体又強健にして何れも忠誠を盡しつゝあり遠く本郡よりの慰問に際し彼此相通し相語り快感面に溢れ大なる好印象を與へたること、信す

月日	所在地	部	隊	名
六月一日	吳	吳鎮守府在勤者	上陸中の者に限る乘艦中	
六月三日	江田島	兵學校	人事部に對しては慰問品を	
	廣島	宇品糧秣支廠	入事部へ托し送付す	

因に慰問人員は左表の通にして各人に對し郡長町村長連名を以ての葉書拾五枚を贈る尙右以外の地に於ける服務者に對しては郵送に依り慰問の意を表したり

慰問部隊人員一覽表

種目	村名	海軍	野砲兵	輜重兵	工兵	騎兵	重砲兵	歩兵	衛戍	計
萩	三	三	二	一	一	一	一	一	一	九
椿	三	二	一	一	一	一	一	一	一	九
山田	三	二	一	一	一	一	一	一	一	九
三見	三	二	一	一	一	一	一	一	一	九
明木	三	二	一	一	一	一	一	一	一	九
佐々並	三	二	一	一	一	一	一	一	一	九
川上	三	二	一	一	一	一	一	一	一	九
生雲	三	二	一	一	一	一	一	一	一	九
計										

合計	見島	六島	田方崎	小川	彌富	須佐	福賀	宇田郷	奈古	大井	紫福	福川	吉部	高部	嘉年	徳佐	地福
三五	三	四	〇	七	二	三	六	五	九	三	八	二	四	二	六	八	八
二六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二六	七	八	三	七	七	〇	三	九	六	〇	七	一	八	一	四	六	二
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

◎ 辭 令

依願免本官(六月十三日) 阿武郡書記 奧田雅晴
 阿武郡農業技手 奧田雅晴
 願ニ依リ本職ヲ免ス(全日) 萩商業學校助教諭 岩本正介
 七給俸當分拾九圓給與(大正七年五月二十三日) 全校助教諭心得 守田禎一
 月俸參拾四圓給與(全日) 全校助教諭心得 佐方克己
 月俸拾四圓給與(全日) 公立高等女學校校長 米原鶴太
 補山口縣都濃郡立都濃高等女學校校長(大正七年五月二十七日) 山口縣視學 齋藤彦一
 任公立高等女學校校長 公立高等女學校校長 齋藤彦一
 高等官七等ヲ以テ待遇セラル(大正七年五月三十一日)
 補山口縣阿武郡立實科高等女學校校長(大正七年五月三十一日)

□ 町村吏員異動

大正七年五月八日就職 地福村助役 伊藤藤一 新任
 大正七年五月廿九日就職 福賀村助役 伊藤賢治 新任
 大正七年六月四日就職 奈古村助役 小野甚作 再選
 大正七年六月十一日就職 奈古村收入役 小田藤吉 再選

□ 小學校教員異動

新任月日	校名	職名	俸給	氏名
五月一日	椿西	准訓導心得	九圓	林尙武
五月廿四日	地福	訓導	六給下俸	石田正
全	見島	全	士給下俸	高喜里
五月廿九日	福川	准訓導心得	拾圓	阿武猛雄
五月卅一日	明倫	全	八圓	久保アヤコ

退 職

退職月日	校名	職名	氏名
大正七年四月廿六日	明倫	訓導	松尾正雄
全	福田	全	伊藤賢治
五月廿八日	福川	全	伊藤傳次
全	紫福	全	齋藤ミドリ

參 考 資 料

學校名	男	女	計	本 順	月	前 位
椿西	九九、二三	九八、九九	九九、一二	一	一	一
野呂	九九、一四	九八、六一	九八、八五	二	一	一
明木	九八、五四	九八、九六	九八、七七	三	一	一
下川	九九、二八	九八、〇八	九八、六六	四	一	一
越濱	九九、〇五	九七、八七	九八、四六	五	一	一
宇田	九八、八三	九七、五八	九八、二五	六	一	一
高瀬	九七、五五	九八、六一	九八、〇七	七	一	一
多磨	九七、九五	九七、五三	九七、七六	八	一	一
長高	九六、八二	九八、八九	九七、七一	九	一	一
佐並	九七、八六	九七、一六	九七、五一	一〇	一	一
篠目	九七、九四	九六、八二	九七、四九	一一	一	一
小川	九七、〇三	九七、八一	九七、四二	一二	一	一
上川	九八、一一	九五、四一	九九、一一	一三	一	一
福川	九七、七八	九六、四三	九七、一一	一四	一	一
半田	九六、五二	九七、六七	九七、〇六	一五	一	一
龜山	九七、四四	九五、七七	九六、六九	一六	一	一
篠生	九五、九〇	九七、三七	九六、六三	一七	一	一
福田	九六、六〇	九六、二七	九六、五六	一八	一	一

一、町村立尋常小學校出席歩合調査表 (其一)

大正七年五月分

目次

- 一、町村立小學校兒童出席歩合調査表
- 二、大正七年度前期各縣稅滯納金額及人員調査表
- 三、町村立小學校兒童身體檢查成績調査表
- 四、徵兵 檢查成績町村別 調査表
- 五、徵兵受檢壯丁檢查成績町村別前年比較表
- 六、阿武郡徵兵檢查成績累計比較表
- 七、徵兵受檢壯丁中体格優長者町村別調査表
- 八、徵兵受檢壯丁學力試驗成績町村別調査表
- 九、海軍處刑者府縣別人員調査表
- 十、海軍處刑者郡市別人員調査表
- 十一、阿武郡春蠶兒^{掃立ヨリ三}齡^{ニ至ル迄}景況及收繭豫想調査表
- 十二、阿武郡 郡 移 住 民 調 査 表

學校名	男	女	計	本順	月	前	位
篠生西	九九、八五	九九、七〇	九九、八〇	一	〇	一	二〇
椿富	九九、六〇	九九、六六	九九、一八	二	九	二	二〇
彌富	九九、二〇	九九、一一	九九、一七	三	八	一	二〇
紫福	九八、六五	九九、六一	九八、九七	四	七	二	二〇
佐並	九八、五一	九九、四三	九八、九〇	五	六	一	二〇
字田	九八、八二	九九、四八	九八、八五	六	五	〇	二〇
育英	九九、一四	九九、〇一	九八、八〇	七	四	一	二〇
三見	九八、三五	九八、五二	九八、四〇	八	三	〇	二〇
明倫	九八、四四	九八、三四	九八、四〇	九	二	〇	二〇
奈古	九八、三〇	九八、三一	九八、三〇	一〇	一	〇	二〇
町村立高等小學校	九六、四六	九五、二四	九五、八四	一	〇	一	二〇
兒童出席歩合調査表	八九、八八	九一、三四	九〇、五一	二	九	〇	二〇
大地福	九一、六六	九一、七二	九一、四〇	三	八	〇	二〇
嘉年島	九二、七七	九〇、〇六	九一、三三	四	七	〇	二〇
嘉目喜	九一、二四	九〇、四五	九〇、八三	五	六	〇	二〇
本月郡平均	九六、四六	九五、二四	九五、八四	六	五	〇	二〇
前月郡平均	九六、八二	九五、五五	九六、二一	七	四	〇	二〇

學校名	男	女	計	本順	月	前	位
鈴野川	九六、九〇	九六、〇〇	九六、四八	一	〇	一	二〇
椿東	九六、〇八	九六、七七	九六、四二	二	九	〇	二〇
明倫	九七、〇一	九五、七七	九六、四二	三	八	〇	二〇
三見	九六、六七	九五、三二	九六、〇二	四	七	〇	二〇
育英	九五、四七	九五、九二	九五、八四	五	六	〇	二〇
川島	九五、九一	九六、六〇	九五、八〇	六	五	〇	二〇
相野	九七、五八	九三、八三	九五、七二	七	四	〇	二〇
立福	九四、六八	九六、六三	九五、六一	八	三	〇	二〇
紫坂	九六、九六	九四、二〇	九五、五九	九	二	〇	二〇
持間	九七、四五	九二、五九	九五、三四	一〇	一	〇	二〇
白水	九五、七三	九四、四四	九四、九九	一一	〇	〇	二〇
徳井	九六、三四	九三、三二	九四、八八	一二	九	〇	二〇
大井	九五、〇七	九三、七一	九四、五二	一三	八	〇	二〇
見島	九五、九五	九二、九三	九四、五二	一四	七	〇	二〇
高侯	九四、七一	九二、七三	九三、七五	一五	六	〇	二〇
奈古	九四、九二	九一、七六	九三、四〇	一六	五	〇	二〇
彌富	九二、五二	九三、八〇	九三、一四	一七	四	〇	二〇
吉部	九三、九八	八九、三三	九一、五〇	一八	三	〇	二〇
生雲	九三、〇三	八九、八三	九一、四五	一九	二	〇	二〇

町村名	種目	金額	租	割	業	稅	雜	種	稅	戶	數	割	累	額	人員	計
萩	地	完納			三、五〇〇	完	一、六〇〇	完納		完	三、七〇〇	三	完納	一、六、三〇〇	二七〇	
椿郷東分	地	全														
山田	地	完納			三、五〇〇	完	六〇〇	完納		全	六〇〇	七	完納	一、四、四〇〇	二七	
三見	地	全														
明木	地	全														
佐並	地	全														
川上	地	全														
篠生	地	全														
生雲	地	完納			四、六〇〇	完	一、九〇〇	完納		全	一、九〇〇	九	完納	二、七〇〇	三六	
地福	地	完納			五〇〇	完	四、六〇〇	完納		全	四、六〇〇	二	完納	一〇、二〇〇	一	
德佐	地	全														
嘉年	地	全														
高俣	地	全														
吉部	地	完納			一、二五〇	完	九六〇	完納		全	九六〇	二	完納	九、一三〇	一五	
福部	地	完納			四、五〇〇	完	一、九〇〇	完納		全	一、九〇〇	二	完納	一五、二三〇	一六	
紫福	地	完納			三、五〇〇	完	一、二五〇	完納		全	一、二五〇	一	完納	一五、七三〇	一七	
本月郡平均																
前月郡平均																

二、大正七年度前期各縣稅滯納金額及人員調查表

(五)

學校名	男	女	計	本	順	月	前	位	月
嘉年	九八、二四	九七、七一	一九八、一六			一			一
明木	九七、七三	九九、二〇	一九八、〇六			二			二
小東	九八、七四	九六、八七	一九七、九七			三			三
高俣	九七、四八	九八、一〇	一九七、七四			四			四
大井	九六、九六	九七、六七	一九七、三〇			五			五
白部	九六、〇六	九八、六一	一九六、九四			六			六
吉部	九六、九四	九六、九〇	一九六、九二			七			七
福田	九六、二六	九六、九二	一九六、四九			八			八
多磨	九七、六二	九二、五九	一九六、四四			九			九
德佐	九六、六四	九五、六九	一九六、三五			〇			〇
川上	九四、八九	九八、五八	一九六、一五			一			一
福雲	九五、三三	九七、〇二	一九六、一二			二			二
生雲	九五、五七	九三、六六	一九四、九〇			三			三
地福	九二、五三	九五、一七	九三、五一			四			四
見島	九二、四二	九四、五三	九三、三五			五			五
大島	九二、一七	九三、八三	九二、三四			六			六
本月郡平均	八二、七二	九七、六一	九七、四二			七			七
前月郡平均	九七、六一	九八、五〇	九七、八七			八			八

(四)

高嘉德地生篠川佐明三山椿 俣年佐福雲生上並木見田	高嘉龜德地藏生持篠篠立野高川長佐明三木白椿 俣年山佐福喜雲坂目生野呂瀬上高並木見間水西	三、四六 三、四六 三、五二 三、五〇 三、五五 三、五九 三、五〇 三、五五 三、五〇 三、五二 三、四九 三、五三 三、五〇 三、五〇 三、四六 三、五九 三、五〇 三、五五 三、四二	四、六六二 四、七九七 四、七七三 四、六八五 四、九五五 四、七三〇 四、七〇〇 四、五六三 四、七二四 五、〇一一 五、〇〇八 四、六七三 四、六三四 四、四〇二 五、〇一〇 四、五三三 四、八二九 四、四二二 四、四二二 四、七三六 四、七五二	一、七一 一、八四 一、八五 一、八一 一、七〇 一、八八 一、七九 一、七二 一、八二 一、七九 一、八七 一、八九 一、八三 一、八三 一、七六 一、八一 一、八一 一、八三 一、六九 一、七五 一、八七	三、四三 三、四六 三、四三 三、四三 三、五一 三、四四 三、四一 三、四一 三、五〇 三、四四 三、四六 三、五一 三、四九 三、三八 三、四七 三、四九 三、五一 三、四九 三、五〇 三、四九	四、四六〇 四、四四九 四、三九八 四、四九七 四、四七三 四、四四三 四、四六三 四、二八九 四、四二二 四、六七二 四、四一五 四、六八〇 四、五二〇 四、二七一 四、七〇八 四、九七二 四、七五七 四、四四二 四、四五一 四、五一九	一、六二 一、七五 一、七六 一、七三 一、七〇 一、七四 一、七七 一、六九 一、八一 一、七九 一、七二 一、七二 一、七〇 一、七六 一、七〇 一、七五 一、七八 一、六六 一、六八 一、七九
-----------------------------	--	--	---	--	--	--	--

(七)

東椿萩 分郷	町村名 越ヶ濱	學校名 明倫	種別 身	性別 男	身長 三、五七 三、五七 三、五七	體重 四、六九〇 四、九二四 四、九五四	胸圍 一、八一 一、七三 一、七四	身長 三、四九 三、四九 三、四九	體重 四、三六二 四、六七九 四、九四二	胸圍 一、七四 一、六五 一、七四
合	見六田小彌須福宇奈大 計 島島崎川富佐賀郷古井	全全全完 納三〇	全完 納二、六二〇 納五七〇 納五三〇	完完 納五〇 納二九〇	完完 納二九〇 納二〇〇	全完 納一〇、九二〇 納一、五五〇 納一、二五〇 納二、八二〇 納三、〇九〇 納一、五八〇 納三三〇 納八四〇	全完 納一〇、九二〇 納一、五五〇 納一、二五〇 納二、八二〇 納三、〇九〇 納一、五八〇 納三三〇 納八四〇	全完 納一〇、九二〇 納一、五五〇 納一、二五〇 納二、八二〇 納三、〇九〇 納一、五八〇 納三三〇 納八四〇	全完 納一〇、九二〇 納一、五五〇 納一、二五〇 納二、八二〇 納三、〇九〇 納一、五八〇 納三三〇 納八四〇	全完 納一〇、九二〇 納一、五五〇 納一、二五〇 納二、八二〇 納三、〇九〇 納一、五八〇 納三三〇 納八四〇

三、小學校兒童身體檢查成績調查表 (其一) 七歲 (大正七年四月檢查)

(六)

町村名	學校名	種別	男			女		
			身長	體重	圍身	身長	體重	圍身
萩	明倫	小	三、七一	五、三二	一、八二	三、六六	四、九〇	一、七三
椿東	椿東	小	三、八一	五、三五	一、八二	三、七八	五、一三〇	一、七三
椿	趣	小	三、七二	五、三五	一、八〇	三、六八	五、〇九三	一、七三
山	白	小	三、七〇	五、二〇三	一、八五	三、六四	四、六七二	一、七九
三	木	小	三、六四	五、二八〇	一、八一	三、六六	四、八六五	一、七一
明	見	小	三、六七	五、一八三	一、八一	三、六七	五、〇五二	一、八〇
佐々	木	小	三、六六	五、〇八四	一、八八	三、六三	五、一六七	一、八三
川	長	小	三、六八	五、四一六	一、八八	三、五一	四、九四六	一、八一
川	高	小	三、六六	五、〇四二	一、八一	三、五九	四、九二〇	一、八三
立	高	小	三、七三	五、一五八	一、九〇	三、六四	四、九八〇	一、八三
篠	野	小	三、五三	四、六六四	一、八四	三、五四	四、六五〇	一、八五
篠	野	小	三、六三	四、九二五	一、八七	三、五四	四、九四一	一、七七
生	坂	小	三、六六	四、九八一	一、八二	三、六四	四、九二二	一、七七
生	目	小	三、六三	五、〇二二	一、八〇	三、五四	四、七三三	一、八二
雲	坂	小	三、六九	五、四五六	一、八四	三、七二	五、二三三	一、七五
福	喜	小	三、五八	四、一三六	一、九一	三、六七	四、八五六	一、八〇
地	目	小	三、七〇	四、六一八	一、七六	三、六七	五、二〇五	一、八九
		小		五、四四七	一、八七	三、六四	四、九二三	一、七六

町村名	學校名	種別	男			女		
			身長	體重	圍身	身長	體重	圍身
吉部	吉部	小	三、五二	四、六七九	一、八一	三、四七	四、五三〇	一、七四
福	福	小	三、四九	四、四六三	一、七七	三、五二	四、五四五	一、七五
紫	半	小	三、五四	四、七七一	一、八一	三、四〇	四、七七三	一、七六
大	井	小	三、三八	四、六四四	一、八一	三、六〇	四、五四二	一、七六
奈	古	小	三、五五	四、七七八	一、八三	三、五一	四、五七六	一、七六
宇	奈	小	三、五二	四、六六一	一、七九	三、六〇	四、四八三	一、七六
福	古	小	三、四九	四、六六〇	一、八四	三、四九	四、〇〇八	一、七六
須	田	小	三、五〇	四、七三三	一、七六	三、四三	四、四四五	一、七五
彌	田	小	三、五九	四、六三三	一、七八	三、四八	四、三六三	一、六九
小	鈴	小	三、五五	四、七四九	一、七八	三、四八	四、四四八	一、七七
小	野	小	三、五七	五、〇三一	一、八六	三、四七	四、七〇〇	一、七四
小	野	小	三、四六	四、六二二	一、八〇	三、五〇	四、七〇九	一、七四
小	野	小	三、四六	四、六二二	一、八〇	三、五〇	四、四〇三	一、七七
小	野	小	三、四九	四、二二八	一、八三	三、四七	四、四二一	一、七三
小	野	小	三、四九	四、二二八	一、八三	三、四七	四、四二一	一、七三
小	野	小	三、五二	四、六四四	一、八〇	三、五九	四、七六六	一、八五
小	野	小	三、五二	四、六四四	一、八〇	三、五九	四、七六六	一、八五

小學校兒童身體檢查成績調查表 (其二) 八歲 (大正七年四月検査)

備考 大島相島ノ兩校ハ未タ學校醫ノ設置ナキ爲検査ヲ施行セズ

町村名	學校名	種別	男				女			
			身長	體重	胸圍	身圍	身長	體重	胸圍	身圍
萩	明倫		三、八五	五、三六六	一、九〇	三、八七	五、五五〇	一、八四		
椿東	椿東		三、八八	五、六六二	一、八六	三、八五	五、四一六	一、七七		
山	白樺		三、九二	五、八一七	一、八七	三、八四	五、三四七	一、七七		
三	木間		三、九五	五、八四一	一、九五	三、八四	五、四二九	一、八五		
明	三見		三、八五	五、三二九	一、八九	三、七五	五、四二九	一、八五		
佐々並	佐々並		三、八五	五、七三六	一、八九	三、八〇	五、四八七	一、八四		
明	明木		三、九〇	五、八一五	一、九三	三、八七	五、五二八	一、八九		
長	高並		三、八四	五、三三四	一、八四	三、八〇	五、四八七	一、八四		
川	高上		三、八三	五、六一三	一、九六	三、九一	五、八二一	一、九一		
高	高瀬		三、八三	五、六七二	一、九九	三、八二	五、三八九	一、八八		
野	野呂		三、六八	四、九七六	一、九二	三、六九	四、六一三	一、八三		
立	立野		三、八〇	五、八九二	二、〇〇	三、八五	五、五五〇	一、九四		
篠	篠生		三、八二	五、三四一	一、九三	三、九〇	五、七二七	一、九一		
持	持坂		三、八三	五、四一七	一、九三	三、七九	五、四七九	一、八八		
篠	篠坂		三、九四	六、一三三	一、九三	三、六七	五、三〇〇	一、七七		

小學校兒童身體檢查成績調査表 (其三) 九歳 (全上)

備

考

大島相島ノ兩校ハ未タ學校醫ノ設置ナキ爲メ検査ヲ施行セズ

町村名	學校名	種別	男				女			
			身長	體重	胸圍	身圍	身長	體重	胸圍	身圍
德	德山		三、六五	五、〇九九	一、八〇	三、五八	四、八四一	一、七三		
嘉	嘉年		三、六一	五、二〇〇	一、九四	三、五三	四、六八二	一、八七		
高	高侯		三、六六	五、二二五	一、九一	三、五九	四、七三四	一、八二		
吉	吉部		三、六一	四、四九〇	一、八四	三、五七	四、八五〇	一、七六		
福	福川		三、六二	四、八七二	一、八二	三、六八	五、〇三六	一、七九		
紫	紫半		三、六〇	四、九三二	一、八六	三、六一	四、七六〇	一、八一		
大	大井		三、六六	五、四四七	一、八四	三、五五	四、七五〇	一、七八		
奈	奈古		三、六〇	五、一五六	一、八八	三、六三	四、八四四	一、八三		
宇	宇田		三、六三	四、九六七	一、八八	三、五六	四、七五四	一、七七		
福	福賀		三、六〇	五、〇一九	一、八八	三、五三	四、六八九	一、七九		
須	須賀		三、六三	四、九五一	一、八一	三、六三	四、七五八	一、七七		
彌	彌富		三、七三	五、二六四	一、八六	三、六一	四、九五九	一、七六		
小	小野		三、六七	五、三二六	一、八七	三、六四	五、〇七四	一、七七		
鈴	鈴野		三、六九	四、九二四	一、八三	三、六三	四、九一七	一、七六		
小	小川		三、六七	四、三六八	一、九一	三、六六	五、二六七	一、八五		
上	上川		三、七三	五、一五八	一、九〇	三、五五	四、七二七	一、七九		
下	下小		三、六八	四、〇七七	一、九〇	三、六四	四、八六〇	一、八四		
多	多磨		三、七二	五、三四〇	一、九〇	三、七三	五、〇六〇	一、七九		

(110)

町村名	學校名	種別	身				備考	
			長	重	胸	圍		
萩	明倫	男	三、九六	五、九九五	二、〇一	三、九〇	五、八二五	一、八七
椿東	椿東	男	三、九七	六、一四二	一、九二	三、九九	五、九〇一	一、八一
椿分	越ヶ	男	四、〇六	六、六二五	一、九五	四、〇五	六、三〇九	一、八七
山田	白西	男	四、〇八	六、一九三	二、〇〇	四、〇二	六、〇八〇	一、九一
三木	水	男	四、一八	六、三一〇	一、九五	四、〇一	六、一二五	一、八四
明見	見	男	三、九四	五、四七一	一、九四	三、九六	五、五〇七	一、八七
明木	見	男	二、九七	六、二五六	二、〇一	三、九一	五、八七八	一、九二
佐々	並	男	四、〇二	六、一七四	二、〇三	三、六五	六、二三一	一、六四
佐々	並	男	三、九八	六、二九一	一、九七	四、〇〇	六、四五〇	一、九七
長高	並	男	三、九八	六、二六九	一、九六	三、九五	六、二〇七	一、七三
高上	高上	男	四、〇〇	六、四八五	二、〇八	三、九三	六、〇四三	一、九八
高上	高上	男	三、九八	六、一九六	二、〇三	三、九一	五、八〇四	一、九八
川上	川上	男	三、九六	六、一八九	二、〇三	三、九一	五、八〇四	一、九八
見島	見島	男	三、八四	五、四二八	一、九二	三、八四	五、三三五	一、八七
田万	下小	男	三、七六	五、二六二	一、九二	三、七七	五、三四五	一、八九
田万	小川	男	三、八三	五、二七一	一、八七	三、七五	五、九七八	一、八一

小學校兒童身体検査成績調査表 (其四) 十歳 (全上)

大島相島の兩校は未だ學校醫の設置なき爲め検査を施行せず

町村名	學校名	種別	身					
			長	重	胸	圍		
生雲	生雲	男	三、九二	五、七五八	一、九二	三、八四	五、六二二	一、八六
地福	地福	男	三、七五	五、四四一	一、九二	三、七六	五、五四四	一、八六
地福	地福	男	三、八五	五、六九五	一、九三	三、八〇	五、五六一	一、八四
德佐	德佐	男	三、八九	五、六四六	一、九六	三、七八	五、三九七	一、八五
嘉年	嘉年	男	三、八二	五、七〇二	一、九二	三、八一	五、四〇二	一、九〇
高侯	高侯	男	三、七六	五、五五九	一、九三	三、六七	五、一〇七	一、八三
吉部	吉部	男	三、八〇	五、六七〇	一、九五	三、九三	五、三三四	一、八三
福川	福川	男	三、八二	五、七七五	一、九一	三、七〇	五、二八九	一、八二
紫福	紫福	男	三、八〇	五、六三五	一、九一	三、六三	五、一八〇	一、八二
大井	大井	男	三、七九	五、八九二	一、九八	三、八四	五、六六二	一、九一
奈古	奈古	男	三、七〇	五、三五四	一、九七	三、七九	五、四三四	一、八六
宇田	宇田	男	三、七四	五、五六一	一、九九	三、八三	五、三三八	一、八三
福賀	福賀	男	三、七三	五、二六二	一、九三	三、七七	五、六四二	一、九二
須佐	須佐	男	三、八五	五、四四四	一、八八	三、七七	五、一一〇	一、八七
彌富	彌富	男	三、八七	五、九〇七	一、九九	三、七九	五、四六六	一、八九
彌富	彌富	男	三、八八	六、〇五二	一、九七	三、七六	五、四六〇	一、八三
鈴野	鈴野	男	三、八三	五、五六一	一、九五	三、六六	五、二三一	一、八四
小川	小川	男	三、七九	五、七〇〇	一、九五	三、七九	五、七五七	一、八二
生雲	生雲	女	三、九二	五、六二二	一、九二	三、八四	五、六二二	一、八六
生雲	生雲	女	三、七五	五、四四一	一、九二	三、七六	五、五四四	一、八六
地福	地福	女	三、八五	五、六九五	一、九三	三、八〇	五、五六一	一、八四
德佐	德佐	女	三、八九	五、六四六	一、九六	三、七八	五、三九七	一、八五
嘉年	嘉年	女	三、八二	五、七〇二	一、九二	三、八一	五、四〇二	一、九〇
高侯	高侯	女	三、七六	五、五五九	一、九三	三、六七	五、一〇七	一、八三
吉部	吉部	女	三、八〇	五、六七〇	一、九五	三、九三	五、三三四	一、八三
福川	福川	女	三、八二	五、七七五	一、九一	三、七〇	五、二八九	一、八二
紫福	紫福	女	三、八〇	五、六三五	一、九一	三、六三	五、一八〇	一、八二
大井	大井	女	三、七九	五、八九二	一、九八	三、八四	五、六六二	一、九一
奈古	奈古	女	三、七〇	五、三五四	一、九七	三、七九	五、四三四	一、八六
宇田	宇田	女	三、七四	五、五六一	一、九九	三、八三	五、三三八	一、八三
福賀	福賀	女	三、七三	五、二六二	一、九三	三、七七	五、六四二	一、九二
須佐	須佐	女	三、八五	五、四四四	一、八八	三、七七	五、一一〇	一、八七
彌富	彌富	女	三、八七	五、九〇七	一、九九	三、七九	五、四六六	一、八九
彌富	彌富	女	三、八八	六、〇五二	一、九七	三、七六	五、四六〇	一、八三
鈴野	鈴野	女	三、八三	五、五六一	一、九五	三、六六	五、二三一	一、八四
小川	小川	女	三、七九	五、七〇〇	一、九五	三、七九	五、七五七	一、八二

町村名	學校名	種別	身		胸		身		胸	
			長	重	圍	長	重	圍		
萩	明倫	男	四、二二	六、三九六	二、〇二	四、一一	六、四〇八	一、九二		
椿	椿東	男	四、二三	六、八四一	二、〇一	四、一九	七、六三八	一、九一		
東	越ヶ	男	四、一五	六、八六七	二、〇〇	四、一九	六、八三三	一、九二		
椿	西濱	男	四、一八	六、九〇八	二、一一	四、一九	六、六三三	一、九二		
山	白	男	四、二〇	六、七五二	一、九八	四、一〇	六、三三八	一、八九		
木	水	男	四、一八	六、七七五	一、九八	四、二二	七、二二六	一、九六		
三	間	男	四、一五	六、八五七	二、一〇	四、三三	六、七三四	二、〇一		
明	見	男	四、一八	七、〇九七	二、一四	四、一二	六、八八四	二、〇三		
萩	明倫	女	四、二二	六、三九六	二、〇二	四、一一	六、四〇八	一、九二		
椿	椿東	女	四、二三	六、八四一	二、〇一	四、一九	七、六三八	一、九一		
東	越ヶ	女	四、一五	六、八六七	二、〇〇	四、一九	六、八三三	一、九二		
椿	西濱	女	四、一八	六、九〇八	二、一一	四、一九	六、六三三	一、九二		
山	白	女	四、二〇	六、七五二	一、九八	四、一〇	六、三三八	一、八九		
木	水	女	四、一八	六、七七五	一、九八	四、二二	七、二二六	一、九六		
三	間	女	四、一五	六、八五七	二、一〇	四、三三	六、七三四	二、〇一		
明	見	女	四、一八	七、〇九七	二、一四	四、一二	六、八八四	二、〇三		

小學校兒童身体検査成績調査表 (其五) 十一歳 (全上)

(一五)

町村名	學校名	種別	身		胸		身		胸	
			長	重	圍	長	重	圍		
須	彌富	男	三、五八	六、一七八	一、九八	三、九七	六、一一八	一、九一		
彌	鈴野	男	三、九七	六、四八三	二、〇四	三、八九	五、八五三	一、九三		
小	小川	男	三、九三	六、一四七	一、九八	三、九一	五、九七五	一、八七		
小	上小	男	三、九三	六、二〇六	二、〇二	三、八四	五、七九〇	一、八九		
田	下小	男	四、〇三	六、五六一	二、〇二	三、九二	六、一一四	一、九六		
田	多磨	男	四、〇〇	六、〇七〇	二、〇一	三、九二	五、八六〇	一、九四		
見	島	男	四、〇六	六、三九五	二、〇〇	四、〇三	五、九九八	一、九一		
野	立野	男	三、九七	六、三三四	一、九二	三、八二	五、三九七	一、八八		
篠	篠生	男	四、〇九	六、五五五	二、〇七	四、〇〇	六、八三三	二、一一		
生	持坂	男	三、九〇	五、七八七	二、〇〇	三、八五	五、七二七	一、九四		
地	藏目	男	四、一四	七、二二三	二、〇一	四、〇三	六、三六〇	一、九〇		
地	福喜	男	三、九六	六、一〇二	二、〇三	三、九四	五、九三九	一、九五		
德	佐山	男	三、九五	六、一五七	二、〇〇	三、八八	五、五八五	一、八七		
嘉	龜山	男	三、九三	六、〇五〇	二、〇五	三、九五	五、九七一	一、九五		
高	高年	男	三、八六	六、二二八	二、〇〇	三、八八	五、八七四	一、九二		
吉	吉部	男	四、〇四	六、六二〇	二、〇〇	四、〇〇	六、二九〇	二、〇一		
福	福川	男	三、九二	五、八八六	一、九九	三、九五	五、九〇九	一、八九		
紫	半田	男	三、九一	六、一四三	二、〇〇	三、九五	五、九七九	一、八七		
大	大井	男	三、八九	六、三七六	二、〇二	三、九五	六、三〇〇	二、〇〇		
奈	奈古	男	三、八九	六、〇八四	二、〇六	四、〇一	六、一〇二	一、九四		
宇	宇田	男	三、八九	六、二〇三	二、〇二	三、九四	五、九五五	一、九七		
福	福賀	男	四、〇八	六、一八六	二、〇四	三、九六	五、九四一	一、八六		
野	野呂	男	三、九七	六、三三四	一、九二	三、八二	五、三九七	一、八八		
立	立野	男	四、〇九	六、五五五	二、〇七	四、〇〇	六、八三三	二、一一		
篠	篠生	男	三、九〇	五、七八七	二、〇〇	三、八五	五、七二七	一、九四		
持	持坂	男	四、一四	七、二二三	二、〇一	四、〇三	六、三六〇	一、九〇		
生	生雲	男	三、九六	六、一〇二	二、〇三	三、九四	五、九三九	一、九五		
地	藏目	男	三、九五	六、一五七	二、〇〇	三、八八	五、五八五	一、八七		
地	福喜	男	三、九五	六、〇五〇	二、〇五	三、九五	五、九七一	一、九五		
德	佐山	男	三、八六	六、二二八	二、〇〇	三、八八	五、八七四	一、九二		
嘉	高年	男	三、九三	六、〇五〇	二、〇〇	四、〇〇	六、二九〇	二、〇一		
高	高年	男	三、八六	六、二二八	二、〇〇	三、八八	五、八七四	一、九二		
吉	吉部	男	四、〇四	六、六二〇	二、〇〇	四、〇〇	六、二九〇	二、〇一		
福	福川	男	三、九二	五、八八六	一、九九	三、九五	五、九〇九	一、八九		
紫	半田	男	三、九一	六、一四三	二、〇〇	三、九五	五、九七九	一、八七		
大	大井	男	三、八九	六、〇八四	二、〇六	四、〇一	六、一〇二	一、九四		
奈	奈古	男	三、八九	六、二〇三	二、〇二	三、九四	五、九五五	一、九七		
宇	宇田	男	三、八九	六、二〇三	二、〇二	三、九四	五、九五五	一、九七		
福	福賀	男	四、〇八	六、一八六	二、〇四	三、九六	五、九四一	一、八六		

(一四)

町村名	學校名	種別	身				身			
			長	重	胸	圍	長	重	胸	圍
東椿 萩	明倫	種別	四、三六	七、六〇七	二、一七	四、二九	七、三九	二、〇五		
分郷	越ヶ濱	種別	四、三三	七、四七	二、〇六	四、三三	七、四〇九	二、〇〇		
		種別	四、三五	七、七三	二、〇五	四、四三	七、六七八	二、〇三		

備考	大島相島の兩校は未だ學校醫の設置なき爲め検査を施行せず										
	見島	田万崎	小川	彌富	須佐	福賀	宇田郷	奈古	大井	見島	田万崎
身	四、二八	四、二四	四、〇八	四、二八	四、一〇	四、一〇	四、一三	四、一五	四、一六	四、一八	四、二四
重	六、七七四	六、八四五	六、四五〇	七、〇六七	六、五四五	七、一一〇	六、七〇〇	六、八二二	六、八二七	六、六四〇	六、三三三
胸	二、〇五	二、〇九	二、〇一	二、一〇	二、〇五	二、〇七	二、〇三	二、〇六	二、〇八	二、〇八	二、〇四
圍	四、一五	四、〇七	三、九六	四、〇二	四、一一	四、二六	四、一四	三、九九	四、一七	四、一〇	四、一〇
身	六、四一七	六、五五二	六、四五〇	六、三三二	六、五一一	七、三四八	六、五四〇	六、二七一	六、二八五	六、五四三	六、四三三
重	一、九六	一、九六	一、九七	一、九七	一、九七	一、九六	一、九六	一、九六	一、九六	一、九四	一、九四
胸	二、〇三	二、〇九	二、〇一	二、一〇	二、〇五	二、〇七	二、〇三	二、〇六	二、〇八	二、〇八	二、〇四
圍	四、一六	四、〇七	三、九六	四、〇二	四、一一	四、二六	四、一四	三、九九	四、一七	四、一〇	四、一〇

(一七)

町村名	學校名	種別	身				身				
			長	重	胸	圍	長	重	胸	圍	
紫福 吉高 嘉德 地生 篠川 佐々並	半福 吉高 嘉龜 德地 藏生 持篠 篠立 野高 川長 佐々並	種別	四、二二	六、〇九〇	二、〇九	四、〇七	六、六六七	二、〇七	四、〇七	六、九五六	二、〇七
福川 部侯 高嘉 龜德 地福 藏喜 雲坂 目生 野野 高瀨 川上 長高 佐々並	半福 吉高 嘉龜 德地 藏喜 雲坂 目生 野野 高瀨 川上 長高 佐々並	種別	四、一六	六、八一七	二、〇七	四、〇九	六、八八六	二、〇五	四、一三	六、四八六	二、〇五
		種別	四、一四	六、三九六	二、〇九	四、〇九	六、三八一	二、〇九	四、〇九	六、五二一	二、〇三
		種別	四、〇九	六、六四九	二、〇五	四、〇一	六、五四八	二、〇四	四、〇一	六、六七四	二、〇四
		種別	四、〇八	六、四三三	二、〇六	四、〇六	六、五五〇	二、〇五	四、〇六	六、三一一	二、〇〇
		種別	四、一〇	七、一八	二、〇六	四、〇七	六、五二三	二、〇五	四、〇七	六、五二二	二、〇七
		種別	四、一〇	六、六九〇	二、〇三	四、〇三	六、三九六	二、〇二	四、〇三	六、四三六	二、〇一
		種別	四、一二	六、九二九	二、〇六	四、〇六	六、四三六	二、〇六	四、〇五	六、四三六	二、〇一
		種別	四、二二	七、一四三	二、一一	四、一三	六、四三三	二、〇二	四、一三	六、四三三	二、〇一
		種別	四、〇七	六、四三七	二、〇二	三、九九	五、九八八	二、〇一	三、九九	五、九八八	二、〇一
		種別	四、一九	六、八二〇	二、〇八	四、一四	六、七〇〇	二、〇九	四、一四	六、七〇〇	二、〇九
		種別	四、一九	六、九六六	二、〇八	四、二〇	六、九一四	二、〇九	四、二〇	六、九一四	二、〇九
		種別	四、三三	七、二九二	二、一三	四、一三	七、一六一	二、〇六	四、一三	七、一六一	二、〇六
		種別	四、一〇	六、五九五	二、一〇	三、九五	六、三一一	二、〇〇	三、九五	六、三一一	二、〇〇
		種別	四、一五	六、六三九	二、〇八	四、二七	六、六七四	二、〇四	四、二七	六、六七四	二、〇四
		種別	四、一七	六、九五八	二、一一	四、〇八	六、五二一	二、〇三	四、〇八	六、五二一	二、〇三
		種別	四、一四	六、六八九	二、〇七	四、〇九	六、四八六	二、〇五	四、一三	六、四八六	二、〇五
		種別	四、二三	七、四八五	二、〇七	四、二八	七、四八五	二、〇七	四、二八	七、四八五	二、〇七

(一六)

小學校兒童身體檢查成績調查表

(其七) 十三歲 (全上)

備考	大島相島の兩校は未だ學校醫の設置なき爲め検査を施行せず															
	見島	田万崎	小川	小川	小川	鈴野	彌富	須佐	福賀	宇田郷	奈古	大井	紫福	福川	吉部	高俣
見島	多磨	下小	上小	小川	鈴野	彌富	須佐	福賀	宇田郷	奈古	大井	紫福	福川	吉部	高俣	
四、三五	四、二六	四、一〇	四、二九	四、一九	四、三三	四、二六	四、二四	四、一九	四、二八	四、三三	四、二六	四、三六	四、三一	四、三三	四、二九	四、一八
七、三二	七、三六〇	六、一一〇	七、六〇〇	六、九八一	七、五五七	七、一三五	六、九七六	六、九三三	七、一四〇	六、九九八	七、二三四	七、五八〇	七、四七九	六、九六九	七、二六五	七、三二九
二、一〇	二、一〇	二、〇九	二、二四	二、二四	二、一〇	二、一一	二、〇九	二、一六	二、二四	二、〇八	二、二四	二、二八	二、二二	二、二二	二、二四	二、二三
四、二七	四、二三	四、二〇	四、二七	四、二〇	四、四一	四、二九	四、二六	四、二三	四、二〇	四、二三	四、三〇	四、三一	四、二二	四、二六	四、三四	四、一七
七、二六	六、九八三	六、九五八	七、七七二	七、〇〇九	八、四〇八	七、五二六	七、三四三	七、一三七	六、八三一	六、九九六	七、三一一	七、〇七	七、三七九	七、二八一	七、五五六	六、八九五
二、〇一	二、〇一	二、〇三	二、〇九	二、〇四	二、一三	二、一二	二、〇五	二、一一	二、〇六	一、九七	二、〇九	二、〇五	二、一一	二、〇九	二、一一	二、〇八

町村名	學校名	種別	身		男		女				
			長	體	重	胸	長	體	重	胸	
椿	白木	山田	三見	明木	佐々並	川上	篠生	生雲	地福	德佐	嘉年
四、三六	四、三五	四、二九	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六
七、八〇〇	七、四二六	七、八〇〇	七、二七四	七、五五八	七、八二七	七、一三四	七、三五四	七、二〇〇	七、九一九	七、一七五	七、一七五
二、二三	二、〇六	二、〇八	二、一八	二、一五	二、一三	二、一〇	二、一三	二、一三	二、一三	二、一三	二、一三
四、三三	四、二九	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六	四、二六
七、四三二	八、一六〇	七、四二六	七、三三二	七、二七〇	七、七七〇	六、九六五	七、四一九	七、二七四	六、九七三	七、五九九	七、二〇四
二、一一	一、九七	一、九七	二、一三	二、〇七	二、〇九	一、九五	二、〇九	二、〇九	二、〇九	二、〇九	二、〇九

小學校兒童身體檢查成績調查表

(其八) 十四歲 (全上)

町村名	學校名	種別	身長	體重	胸圍	身長	體重	胸圍
嘉年	高俣	男	四、四〇	七、七五	二、一九	四、四一	七、八九一	二、〇九
嘉年	高俣	女	四、四三	八、一〇三	二、二五	四、三三	七、六八九	二、二一
吉部	吉部	男	四、四六	七、九三九	二、一九	四、四二	八、〇七五	二、一四
吉部	吉部	女	三、三五	七、六八三	二、一〇	四、四七	八、三九一	二、一一
紫福	紫福	男	四、五一	八、〇六三	二、一七	四、四八	八、五六七	二、一六
紫福	紫福	女	四、四九	八、三三八	二、二四	四、五四	八、九〇〇	二、二六
大井	大井	男	四、五一	八、二七三	二、一五	四、五四	八、五三〇	二、一六
大井	大井	女	四、五二	八、二七三	二、一五	四、五四	八、五三〇	二、一六
奈古	奈古	男	四、三七	七、六六五	二、一九	四、四一	七、八九六	二、一三
奈古	奈古	女	四、四〇	七、九九九	二、二〇	四、五七	九、一一八	二、二六
福賀	福賀	男	四、四九	八、一八三	二、二〇	四、五六	八、五三〇	二、一九
福賀	福賀	女	四、四一	八、二一五	二、二三	四、四〇	九、二九五	二、二八
彌富	彌富	男	四、四一	七、六二〇	二、〇五	四、二八	七、四七〇	二、〇五
彌富	彌富	女	四、四三	八、一四二	二、二三	四、四〇	七、八八六	二、一五
小川	小川	男	四、四三	八、五〇〇	二、二〇	四、四三	八、四九〇	二、二四
小川	小川	女	四、四一	八、一四二	二、二三	四、四〇	七、八八六	二、一五
下小	下小	男	四、四三	八、五〇〇	二、二〇	四、四三	八、四九〇	二、二四
下小	下小	女	四、四一	八、一四二	二、二三	四、四〇	七、八八六	二、一五
田方	田方	男	四、三六	七、七〇八	二、一六	四、四七	八、四三〇	二、一五
田方	田方	女	四、五一	八、一〇七	二、一七	四、五〇	八、三三五	二、一〇
見島	見島	男	四、五一	八、一〇七	二、一七	四、五〇	八、三三五	二、一〇
見島	見島	女	四、五一	八、一〇七	二、一七	四、五〇	八、三三五	二、一〇

町村名	學校名	種別	身長	體重	胸圍	身長	體重	胸圍
萩倫	明倫	男	四、四四	八、一三三	二、二三	四、三六	八、一八一	二、〇七
萩倫	明倫	女	四、四九	八、一三三	二、二三	四、五三	八、四四八	二、〇七
椿東	越ヶ	男	四、四〇	八、〇二八	二、三〇	四、八五	一〇、五三三	二、三三
椿東	越ヶ	女	四、四〇	八、〇二八	二、三〇	四、五五	八、一八五	二、〇九
椿東	越ヶ	男	四、五一	七、八五四	二、二二	四、五一	七、八五四	二、一三
椿東	越ヶ	女	四、五一	七、八五四	二、二二	四、五一	七、八五四	二、一三
山田	白水	男	四、四〇	八、二一九	二、二五	四、二七	八、四九六	二、二三
山田	白水	女	四、四〇	八、二一九	二、二五	四、二七	八、四九六	二、二三
明木	明木	男	四、四一	八、五三七	二、二六	四、四九	九、二八八	二、二五
明木	明木	女	四、四一	八、五三七	二、二六	四、四九	九、二八八	二、二五
佐々並	佐々並	男	四、三六	八、二五六	二、一九	四、四八	八、四三〇	二、一八
佐々並	佐々並	女	四、三六	八、二五六	二、一九	四、四八	八、四三〇	二、一八
長高	長高	男	四、四六	八、三五六	二、二四	四、五三	八、五八九	二、二二
長高	長高	女	四、四六	八、三五六	二、二四	四、五三	八、五八九	二、二二
川上	川上	男	四、五六	九、一三〇	二、三九	四、三二	六、九六〇	二、二二
川上	川上	女	四、五六	九、一三〇	二、三九	四、三二	六、九六〇	二、二二
野呂	野呂	男	四、三七	七、六〇六	二、二二	四、三五	七、四三〇	二、〇四
野呂	野呂	女	四、三七	七、六〇六	二、二二	四、三五	七、四三〇	二、〇四
篠生	篠生	男	四、四三	八、〇一七	二、二五	四、三九	七、三二八	二、一四
篠生	篠生	女	四、四三	八、〇一七	二、二五	四、三九	七、三二八	二、一四
持坂	持坂	男	四、七五	九、二〇〇	二、二七	四、四六	九、三五一	二、〇七
持坂	持坂	女	四、七五	九、二〇〇	二、二七	四、四六	九、三五一	二、〇七
生雲	生雲	男	四、四六	八、二二六	二、一八	四、二五	七、七二〇	二、〇六
生雲	生雲	女	四、四六	八、二二六	二、一八	四、二五	七、七二〇	二、〇六
藏目	藏目	男	四、三一	七、八〇〇	二、一六	四、二五	七、七二〇	二、〇六
藏目	藏目	女	四、三一	七、八〇〇	二、一六	四、二五	七、七二〇	二、〇六
地福	地福	男	四、五〇	八、〇四二	二、二〇	四、四八	八、六三三	二、二一
地福	地福	女	四、五〇	八、〇四二	二、二〇	四、四八	八、六三三	二、二一
徳佐	徳佐	男	四、四五	八、〇五七	二、二二	四、三五	七、八二〇	二、一八
徳佐	徳佐	女	四、四五	八、〇五七	二、二二	四、三五	七、八二〇	二、一八
徳佐	徳佐	男	四、四五	八、〇五七	二、二二	四、三五	七、八二〇	二、一八
徳佐	徳佐	女	四、四五	八、〇五七	二、二二	四、三五	七、八二〇	二、一八

町村名	學校名	種別	男				女			
			身長	體重	胸圍	身圍	身長	體重	胸圍	
大井	奈古	大井	四、七九	九、四八〇	二、三三	四、七五	八、〇五六	二、二五		
奈古	宇田	奈古	四、六二	九、〇二七	二、二九	四、五二	八、八九〇	二、二一		
宇田	福賀	宇田	四、七三	八、九三三	二、三三	四、六五	九、二九六	二、二九		
福賀	須佐	福賀	四、五二	八、四二二	二、二二	四、四六	七、八七二	二、二二		
須佐	彌富	彌富	四、七〇	九、二六三	二、二六	四、四四	九、七四一	二、二六		
彌富	小川	小川	四、八一	一〇、三六七	二、四三	四、四七	八、五七一	二、二六		
小川	田崎	田崎	四、七二	九、一八〇	二、三二	四、五九	九、一四三	二、二四		
田崎	見島	見島	四、五一	八、三七九	二、二五	四、六一	九、二〇〇	二、二三		
見島	大井	大井	四、八六	九、七六九	二、二七	四、五〇	七、三三〇	二、二二		
町村名	學校名	種別	小學校兒童身體檢查成績調查表 (其九) 十五歲 (全上)							
大井	奈古	大井	四、五九	七、九〇〇	二、二二	四、五九	一〇、八五〇	二、四七		
奈古	明倫	明倫	四、九一	一〇、四四二	二、四三	四、七三	一〇、二〇〇	二、三〇		
明倫	椿西	椿西	五、一六	一一、六〇〇	二、三四	四、八七	一〇、五三三	二、四〇		
椿西	山田	山田	四、六四	八、八八七	二、四一	四、八七	一〇、五三三	二、四〇		
山田	明水	明水	四、五七	一〇、〇三七	二、四五	四、七四	一〇、二一〇	二、四〇		
明水	川上	川上	四、八六	一〇、三四七	二、三三	四、七四	一〇、二一〇	二、四〇		
川上	生雲	生雲	五、一五	一〇、五六〇	二、三五	四、七四	一〇、二一〇	二、四〇		
生雲	地藏	地藏	四、八一	一〇、九八〇	二、四七	四、七四	一〇、二一〇	二、四〇		
地藏	地福	地福	四、八一	一〇、九八〇	二、四七	四、七四	一〇、二一〇	二、四〇		

(111)

町村名	學校名	種別	男				女			
			身長	體重	胸圍	身圍	身長	體重	胸圍	
明倫	椿東	明倫	四、六三	九、〇〇〇	二、二九	四、六九	九、四七七	二、二九		
椿東	椿西	椿西	四、七三	九、三七六	二、二三	四、六一	八、八六一	二、〇七		
椿西	山田	山田	四、六七	八、七〇〇	二、二五	四、七〇	九、二〇〇	二、一八		
山田	三見	三見	四、七一	九、〇三三	二、一九	四、七五	九、二〇〇	二、二三		
三見	明木	明木	四、六一	九、一五二	二、三三	四、七一	九、七八〇	二、三三		
明木	佐々木	佐々木	四、六九	九、八五三	二、四九	四、六三	九、六四〇	二、三〇		
佐々木	川上	川上	四、六二	九、七五三	二、三三	四、六七	九、六四〇	二、三〇		
川上	篠生	篠生	四、八二	一〇、〇四一	二、四一	四、七二	一〇、〇二五	二、三五		
篠生	生雲	生雲	四、六七	一〇、〇四一	二、四一	四、七二	一〇、〇二五	二、三五		
生雲	地藏	地藏	四、七六	九、〇二三	二、三三	四、六六	九、五四三	二、三四		
地藏	地福	地福	四、五六	九、九三二	二、二六	四、七四	九、九八九	二、三七		
地福	德佐	德佐	四、六五	九、二六一	二、三六	四、六七	一〇、〇七三	二、三〇		
德佐	嘉山	嘉山	四、八二	一一、九〇〇	二、五二	四、五五	八、七八三	二、一九		
嘉山	高侯	高侯	四、六八	九、四八七	二、三五	四、六四	八、九三四	二、三七		
高侯	吉部	吉部	四、五六	八、五五三	二、二三	四、六三	八、九九四	二、二二		
吉部	福川	福川	四、六一	八、八八一	二、二三	四、六八	九、六八二	二、三〇		
福川	紫半	紫半	四、五九	九、一五〇	二、二〇	四、六六	一〇、二〇〇	二、三〇		
紫半	紫福	紫福	四、五一	九、〇〇〇	二、二四	四、六一	九、三三六	二、二四		
町村名 <td>學校名 <td>種別 <td colspan="4">小學校兒童身體檢查成績調查表 (其九) 十五歲 (全上)</td> <td colspan="4"></td> </td></td>	學校名 <td>種別 <td colspan="4">小學校兒童身體檢查成績調查表 (其九) 十五歲 (全上)</td> <td colspan="4"></td> </td>	種別 <td colspan="4">小學校兒童身體檢查成績調查表 (其九) 十五歲 (全上)</td> <td colspan="4"></td>	小學校兒童身體檢查成績調查表 (其九) 十五歲 (全上)							
明倫	椿東	明倫	四、六三	九、〇〇〇	二、二九	四、六九	九、四七七	二、二九		
椿東	椿西	椿西	四、七三	九、三七六	二、二三	四、六一	八、八六一	二、〇七		
椿西	山田	山田	四、六七	八、七〇〇	二、二五	四、七〇	九、二〇〇	二、一八		
山田	三見	三見	四、七一	九、〇三三	二、一九	四、七五	九、二〇〇	二、二三		
三見	明木	明木	四、六一	九、一五二	二、三三	四、七一	九、七八〇	二、三三		
明木	佐々木	佐々木	四、六九	九、八五三	二、四九	四、六三	九、六四〇	二、三〇		
佐々木	川上	川上	四、六二	九、七五三	二、三三	四、六七	九、六四〇	二、三〇		
川上	篠生	篠生	四、八二	一〇、〇四一	二、四一	四、七二	一〇、〇二五	二、三五		
篠生	生雲	生雲	四、六七	一〇、〇四一	二、四一	四、七二	一〇、〇二五	二、三五		
生雲	地藏	地藏	四、七六	九、〇二三	二、三三	四、六六	九、五四三	二、三四		
地藏	地福	地福	四、五六	九、九三二	二、二六	四、七四	九、九八九	二、三七		
地福	德佐	德佐	四、六五	九、二六一	二、三六	四、六七	一〇、〇七三	二、三〇		
德佐	嘉山	嘉山	四、八二	一一、九〇〇	二、五二	四、五五	八、七八三	二、一九		
嘉山	高侯	高侯	四、六八	九、四八七	二、三五	四、六四	八、九三四	二、三七		
高侯	吉部	吉部	四、五六	八、五五三	二、二三	四、六三	八、九九四	二、二二		
吉部	福川	福川	四、六一	八、八八一	二、二三	四、六八	九、六八二	二、三〇		
福川	紫半	紫半	四、五九	九、一五〇	二、二〇	四、六六	一〇、二〇〇	二、三〇		
紫半	紫福	紫福	四、五一	九、〇〇〇	二、二四	四、六一	九、三三六	二、二四		

(111)

考備	平均	計又	町村名														
			見島	六島	田崎	小川	彌富	須佐	福賀	宇田	奈古	大井	紫福	吉部	高俣	嘉年	徳佐
本表甲種合格歩合は壯丁に付花柳病トヲホームは令第十二條志願者を合したるものに付調査す	九八〇	均ハ	二五	二七	三三	二六	二六	三〇	一五	三三	一九	三三	四四	二〇	一四	四三	三九
	五二		一三	一九	二〇	二四	二二	二〇	二二	二〇	二〇	二二	二二	二二	二二	二二	二二
	平均		四、〇	七、〇	六、二	五、〇	四、二	六、〇	四、〇	六、六	六、三	四、七	五、〇	五、一	三、五	八、五	六、五
	一、四		19	10	2	21	22	6	23	3	8	20	7	15	13	26	1
	平均		五、一	五、三	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一
	一、三		20	1	23	19	9	22	24	27	12	7	11	5	17	18	21
	平均		一、三	一、五	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三
	九〇八		18	1	21	26	9	14	22	25	17	2	10	8	16	27	23
	二五			一	三		一						四	一			一
	二、四			三	九	〇	三						八	四			二
八六		二	五		一	三	四		三	一	一	二	二	一		四	
八、九		八、〇	一、八	五		三	八	一	一、三	三	八	一	二、八	四、一	八、〇	五、〇	

(一五)

町村別	壯丁受檢人員	甲種合格種	同百分比	順位	身長		體重		花柳病トヲホーム
					平均	順位	平均	順位	
萩	一三六	五三	三九、〇	25	五、二	一三、九	三六	四、三	二〇
椿郷東分	八六	五〇	五八、八	11	五、二	一四、五	三	三、三	一五
山田	三三	二二	五〇、〇	17	五、三	一四、六	一	三、三	二〇
三木	三三	二二	五〇、〇	17	五、三	一四、六	一	三、三	二〇
明見	三三	二二	五〇、〇	17	五、三	一四、六	一	三、三	二〇
佐並	二六	一八	五〇、〇	12	五、三	一四、六	一	三、三	二〇
川上	二六	一八	五〇、〇	12	五、三	一四、六	一	三、三	二〇
生雲	二〇	一四	五〇、〇	18	五、三	一四、六	一	三、三	二〇
生雲	二〇	一四	五〇、〇	18	五、三	一四、六	一	三、三	二〇
生雲	二〇	一四	五〇、〇	18	五、三	一四、六	一	三、三	二〇

四、徴兵検査成績町村別調査表

大正七年

町村名	學校名	種別	身長	體重	胸圍	身長	體重	胸圍
徳佐	徳佐	徳佐	四、八七	一〇、五〇〇	二、四二			
福川	福川	福川	四、四五	七、三五	二、二二			
奈古	奈古	奈古	五、〇二	一一、〇五〇	二、三六			
福賀	福賀	福賀	四、七七	八、五〇	二、二二			
田崎	田崎	田崎	四、七九	九、九〇〇	二、三六			

(一四)

五、徵兵受檢壯丁檢查成績町村別前年比較表

大正七年

町村別	甲種合格者		身長		平均		均		體量	
	大正六年	大正七年	大正六年	大正七年	大正六年	大正七年	大正六年	大正七年	大正六年	大正七年
萩町	五〇	五三	五、三二	五、三三	一四、〇三〇	一三、九六三	一四、〇三〇	一四、五九六	一四、〇三〇	一四、五九六
椿郷東分村	三六	一一	五、二九	五、三三	一四、四四四	一四、六六六	一四、四四四	一四、二三七	一四、四四四	一四、六六六
山田村	二六	二〇	五、二六	五、二九	一四、四五六	一四、二三七	一四、四五六	一四、三五六	一四、四五六	一四、三五六
三見村	一六	一八	五、二七	五、二七	一四、一八九	一四、三五六	一四、一八九	一四、三五六	一四、一八九	一四、三五六
明木村	一六	一三	五、二五	五、二五	一四、一四九	一四、三五六	一四、一四九	一四、三五六	一四、一四九	一四、三五六
佐々並村	九	一三	五、二六	五、二五	一三、九五七	一三、五三〇	一三、九五七	一三、五三〇	一三、九五七	一三、五三〇
川上村	九	一四	五、二六	五、二六	一四、四二五	一三、九八四	一四、四二五	一三、九八四	一四、四二五	一三、九八四
篠生村	九	一七	五、二三	五、二三	一三、九三一	一三、九二七	一三、九三一	一三、九二七	一三、九三一	一三、九二七
生雲村	二	二	五、二七	五、二七	一四、〇三三	一三、七八〇	一四、〇三三	一三、七八〇	一四、〇三三	一三、七八〇
地福村	二	二	五、一八	五、一八	一三、七〇五	一三、六八五	一三、七〇五	一三、六八五	一三、七〇五	一三、六八五
德佐村	二	二	五、一八	五、一八	一四、四六〇	一三、五三九	一四、四六〇	一三、二七六	一四、四六〇	一三、二七六
嘉年村	二	二	五、一八	五、一八	一四、三五三	一三、二七六	一四、三五三	一三、二七六	一四、三五三	一三、二七六
高俣村	二	二	五、二四	五、二四	一三、八〇五	一三、八〇〇	一三、八〇五	一三、八〇〇	一三、八〇五	一三、八〇〇
吉部村	二	二	五、二一	五、二一	一四、一五九	一四、一四一	一四、一五九	一四、一四一	一四、一五九	一四、一四一
福川村	二	二	五、二三	五、二三	一四、四六七	一三、九九〇	一四、四六七	一三、九九〇	一四、四六七	一三、九九〇
紫福村	二	二	五、二四	五、二四	一四、四六七	一三、九九〇	一四、四六七	一三、九九〇	一四、四六七	一三、九九〇

六、阿武郡徵兵檢查成績累年比較表

自明治四十二年
至大正七年

年次	受檢人員	甲種合格	百分比	平均身長	均量	花柳病人員百分比	トヲホ人員百分比
全	九〇二	三五二	三八、九一	五、二二	一三、八一〇	八	五四
全	八三三	二六九	三二、七三	五、二〇	一三、八三〇	一六	一五
全	七三九	二六五	三五、八五	五、二三	一三、九二〇	二四	七五
全	九四三	四二三	四四、八四	五、二三	一三、九四〇	二九	八六
全	七九二	二九九	三七、九二	五、二三	一三、八一〇	三三	六〇

計	見島村	六島村	田万崎村	小川村	彌富村	須佐村	福賀村	宇田郷村	奈古村	大井村
四四三	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
五二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
五、二四	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二
五、三二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二
五、三二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二
一四、一六九	一四、一六九	一四、一六九	一四、一六九	一四、一六九	一四、一六九	一四、一六九	一四、一六九	一四、一六九	一四、一六九	一四、一六九
一三、九〇八	一三、七六〇	一三、四二七	一三、六五〇	一三、三六四	一四、〇三三	一三、八三五	一三、五六〇	一三、四一三	一三、六八八	一四、九八九

府縣名	罪名	後發	航海	期	竊	盜	領	文書	偽造	上	官	暴	行	公	傷	害	官	物	其他	計	合	計
大阪府	徵兵	志願兵																				
兵庫縣																						
奈良縣																						
岡山縣																						
廣島縣																						
平均																						
見島																						
六島																						
田崎																						
小川																						
彌富																						
須佐																						
福賀																						

九、海軍處刑者府縣別人員調查表

自大正四年一月至大正六年五月

(111)

町村別	進學步合	正位	學力試驗步合	順年	進學步合	正位	學力試驗步合	順年
萩	八二、〇七	九	七二、七二	三	七二、〇	九	六三、八	一八
椿鄉東分	六九、五一	二〇	六二、一三	一八	六八、五	一六	六七、七	一七
山田	九四、一二	一	七五、〇〇	一	七九、七	一三	六四、一	一七
三見	六八、八五	二	六三、七三	一	七三、〇	一三	六七、三	一七
山見	八五、三九	二	五九、九三	二	八三、六	二	六〇、八	一三
明木	九一、〇〇	二	五九、〇〇	三	八三、三	二	六〇、八	一三
佐並	八四、八二	六	六九、二〇	二	八五、七	一	七三、七	一三
川上	八〇、七一	二	六三、九三	二	七六、六	一〇	六四、一	一七
篠生	八四、〇九	七	六〇、二三	二	七五、〇	二	七一、三	一五
生雲	六七、三六	三	六〇、四三	二	六五、八	二	六四、八	一五
地福	八三、三三	八	六四、五	二	七二、二	一	七一、三	一五
德佐	八六、三六	四	六六、七六	一	八〇、四	五	六二、四	一六
嘉年	八一、二五	一〇	六六、四〇	九	七〇、八	一	六六、七	一六
高侯	七〇、〇〇	一	七二、五〇	二	七九、六	七	六二、五	一六
吉部	五六、五三	二	六三、五〇	二	五九、八	三	六六、八	一五
福川	七九、二七	三	六一、二六	一	七六、四	二	七一、九	一四
紫福	六七、四二	三	六三、二二	一	七五、〇	二	六五、五	一三
大井	八六、七六	三	六六、三六	一	八一、一	二	七四、七	一四
奈古	七七、一九	五	六六、三六	七	六六、四	四	六四、三	一六
字田	七六、一三	四	六九、五三	四	七〇、八	一	五八、三	一五

(110)

市郡名	罪名	逃後發航期	竊橫	盜領	文書偽造	上官暴行妨害	傷害官物	計	合計
大島郡	志願兵	二		三	一			六	一
玖珂郡	徵兵								
熊毛郡				一				一	一
都濃郡				二				二	二
佐波郡				一				一	一
吉敷郡									
厚狹郡					二			二	二
豐浦郡									
美禰郡					一			一	一
大津郡									
合計				六	三		二	一一	一一
合計				二	三		二	七	六

十、海軍處刑者郡市別人員調査表

自大正四年一月至同六年五月

(三三)

府縣名	罪名	逃後發航期	竊橫	盜領	文書偽造	上官暴行妨害	傷害官物	計	合計
和歌山縣	徵兵	二		一				三	三
德島縣	志願兵	二		二				四	四
香川縣		二		一				三	三
愛媛縣		三		一				四	四
高知縣		二		一				三	三
山口縣		七		二				九	九
三重縣		二		一				三	三
鳥取縣				一				一	一
滋賀縣				一				一	一
合計		二五		七	三	六	四	二一	二一
合計		二		六	三	六	四	二一	二一

島根縣は犯罪者なし

(三二)

阿武郡報第二十三號 大正七年六月十五日發行 ©大正六年十二月十九日第三種郵便物認可 ©每月一回十五日發行 一部代價 金拾錢

市郡名	罪名	阿武郡		下關市	合計	備考
		阿武郡	阿武郡			
逃	後發航期	一一				
竊	橫					
盜	領	四				
文書	偽造					
行使	詐偽					
上官	暴行公					
務執行	妨害					
傷害	官物					
毀棄	其他					
計		一七				
合計		八				

備考	合計	備考
犯罪件數四十一件人員三十名内志願兵二十四名徴兵六名なり	九	九
	二七	二七
	一五	一五
	二	二
	三	三
	一	一
	四	四
	四二	四二

掃立の初終	蠶種掃立枚數	生育の良否	桑葉の過不足	前年實收	本年豫想
初四月廿九日	蠶種掃立枚數	生育の良否	桑葉の過不足	前年實收	本年豫想
終五月十七日	蠶種掃立枚數	生育の良否	桑葉の過不足	前年實收	本年豫想
	一、〇五四枚	良	過不足なし	一、六六石	一、八五石
		好			

種別	十二、阿武郡移住民調査表	大正七年一月一日現在
全戸移住	戸數	二〇〇
非全戸移住	戸數	一五
合計	戸數	二一五
備考	全戸移住に付ては樺郷東分村、生雲村、田万崎村、川上村、地福村、徳佐村多く非全戸移住に付ては樺村、奈古村、須佐村最も多し	